

Attorney Docket No. 826.1728

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Toshio YOSHIDA, et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: June 5, 2001

Examiner:

For: ONLINE SETTLEMENT SYSTEM, METHOD THEREOF AND STORAGE MEDIUM

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN  
APPLICATION IN ACCORDANCE  
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-167174

Filed: June 5, 2000

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: June 5, 2001

By: \_\_\_\_\_

James D. Halsey, Jr.  
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500  
Washington, D.C. 20001  
(202) 434-1500

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: June 5, 2000

Application Number: Patent Application No. 2000-167174

Applicant(s): The Sakura Bank, Limited,  
FUJITSU LIMITED

December 22, 2000

Commissioner,  
Patent Office      Kozo OIKAWA

Certificate No. 2000-3105866

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

JC971 U.S. PTO  
09/873361  
06/05/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2000年 6月 5日

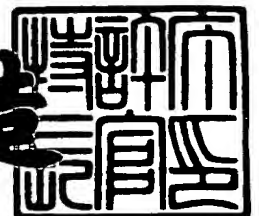
出 願 番 号  
Application Number: 特願2000-167174

出 願 人  
Applicant(s): 株式会社さくら銀行  
富士通株式会社

2000年12月22日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3105866

【書類名】 特許願

【整理番号】 0050344

【提出日】 平成12年 6月 5日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明の名称】 オンライン決済システム、その方法及び記録媒体

【請求項の数】 75

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都千代田区九段南 1 丁目 3 番 1 号 株式会社さくら  
銀行内

    【氏名】 吉田 俊夫

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都千代田区九段南 1 丁目 3 番 1 号 株式会社さくら  
銀行内

    【氏名】 小村 充広

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都千代田区九段南 1 丁目 3 番 1 号 株式会社さくら  
銀行内

    【氏名】 山下 明

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都千代田区九段南 1 丁目 3 番 1 号 株式会社さくら  
銀行内

    【氏名】 飯塚 敦

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都千代田区九段南 1 丁目 3 番 1 号 株式会社さくら  
銀行内

    【氏名】 水木 亨

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都千代田区九段南 1 丁目 3 番 1 号 株式会社さくら

銀行内

【氏名】 北 周介

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通  
株式会社内

【氏名】 久保 政則

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通  
株式会社内

【氏名】 矢ヶ崎 功

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通  
株式会社内

【氏名】 黒田 俊光

【特許出願人】

【識別番号】 596089344

【氏名又は名称】 株式会社さくら銀行

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100074099

【住所又は居所】 東京都千代田区二番町 8 番地 2 0 二番町ビル 3 F

【弁理士】

【氏名又は名称】 大菅 義之

【電話番号】 03-3238-0031

【選任した代理人】

【識別番号】 100067987

【住所又は居所】 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾 7 - 2 5 - 2 8 - 5 0 3

【弁理士】

【氏名又は名称】 久木元 彰

【電話番号】 045-573-3683

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012542

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705047

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 オンライン決済システム、その方法及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 取引の決済をオンラインで行うためのオンライン決済システムであって、

利用者の取引内容を格納する取引内容格納手段と、

該利用者の問い合わせに従って、該取引内容格納手段に格納された該取引内容の内、代金が未払いになっている取引内容を提示する未決済一覧表示手段と、

該利用者が決済を行うべきとする取引内容について、該利用者に口座取扱機関を使って代金の振り込みを行わせる振り込み手段と、

を備えることを特徴とするオンライン決済システム。

【請求項 2】 前記取引内容格納手段は、利用者がオンラインで行なった取引の内容を、オンラインで受け取って格納するものであることを特徴とする請求項 1 記載のオンライン決済システム。

【請求項 3】 前記取引内容格納手段は、利用者がオフラインで行なった取引の内容を、利用者の取引先からオンラインで受け取って格納するものであることを特徴とするオンライン決済システム。

【請求項 4】 前記取引先から利用者の取引内容を受け取ったことに基いて、  
該利用者に対して決済要求を通知する手段をさらに備えることを特徴とするオンライン決済システム。

【請求項 5】 前記口座取扱機関は、オンラインで振り込み手続が可能であることを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 6】 前記取引内容格納手段に格納された取引内容から、決済の済んだ項目を削除する削除手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 7】 前記削除手段は、決済の済んだ項目を決済済み取引内容格納手段に格納することを特徴とする請求項 6 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 8】 利用者の要求に応じて該利用者の過去の決済履歴を表示する

利用者決済履歴表示手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 記載のオンライン決済システム。

【請求項 9】 前記オンライン決済システムは、利用者の取引先からの問い合わせに対し、該取引先で行われた取引内容の一覧を表示する取引内容一覧表示手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 10】 取引先の要求に応じて該取引先の過去の決済履歴を表示する取引先決済履歴表示手段をさらに有することを特徴とする請求項 9 記載のオンライン決済システム。

【請求項 11】 前記口座取扱機関が複数ある場合、前記利用者に、どの口座取扱機関を使って振り込みを行うのが好ましいかを提示する口座取扱機関リコメンド手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 12】 前記利用者によって決済が終了した取引について、取引先に、該取引の代金が振り込まれたことを通知する振り込み通知手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 13】 前記取引内容格納手段に、各取引の決済期限を設け、決済期限の所定時間前になったことに基いて、当該決済を利用者に予告通知する予告通知手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 14】 前記予告通知手段は、利用者がこのオンライン決済システムにログインする際に、利用者に決済予告を通知するものであることを特徴とする請求項 13 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 15】 前記予告通知手段は、利用者に電子メールで決済予告を通知するものであることを特徴とする請求項 13 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 16】 前記取引内容格納手段に、各取引の決済期限を設け、該決済期限が経過した際には、当該取引に対応する前記取引内容を消去することを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 17】 前記取引内容が消去される前に、該取引内容に対応する取引が行われた前記取引先に、該取引内容が消去される旨の通知を行うことを特徴



とする請求項 1 6 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 1 8】 前記取引内容が複数存在する場合、該複数の取引内容をグループ化し、1 回の振り込みによって、複数の取引内容に対する振り込みを終了させることを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 1 9】 前記グループ化した全ての取引内容に対する振込を行なうと口座取扱機間の口座が残高不足となる場合に、前記グループ化した全ての取引内容に対する振込を停止させることを特徴とする請求項 1 8 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 2 0】 前記取引内容格納手段に格納される前記ショッピング内容は、前記利用者が取引の申込を行った時点で生成・格納され、前記代金が未払いになっている取引内容の一覧の表示、及び、代金の振り込みは、該利用者が取引の申込を行った後の時点で行われることを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 2 1】 前記未払いになっている取引内容の一覧の表示の際に、前記取引内容に関連した広告を該一覧と共に、前記利用者に提示することを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 2 2】 前記代金の振り込みに際し、前記利用者が利用する口座取扱機間の口座の残高を該利用者に提示することを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 2 3】 前記未決済一覧表示手段によって表示された取引内容の詳細情報を表示する取引内容詳細情報表示手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 2 4】 前記取引内容詳細情報表示手段は、取引に係る取引対象の情報を表示するものであることを取引対象情報表示手段をさらに有するものであることを特徴とする請求項 1 に記載のオンライン決済システム。

【請求項 2 5】 取引の決済をオンラインで行うためのオンライン決済方法であって、

利用者の取引内容を格納する取引内容格納ステップと、

該利用者の問い合わせに従って、該取引内容格納ステップに格納された該取引

内容の内、代金が未払いになっている取引内容を提示する未決済一覧表示ステップと、

該利用者が決済を行うべきとする取引内容について、該利用者に口座取扱機関を使って代金の振り込みを行わせる振り込みステップと、

を備えることを特徴とするオンライン決済方法。

【請求項 2 6】 前記取引内容格納ステップは、利用者がオンラインで行なった取引の内容を、オンラインで受け取って格納するものであることを特徴とする請求項 2 5 記載のオンライン決済方法。

【請求項 2 7】 前記取引内容格納ステップは、利用者がオフラインで行なった取引の内容を、利用者の取引先からオンラインで受け取って格納するものであることを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 2 8】 前記取引先から利用者の取引内容を受け取ったことに基いて、該利用者に対して決済要求を通知するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 2 9】 前記口座取扱機関は、オンラインで振り込み手続が可能であることを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 0】 前記取引内容格納ステップに格納された取引内容から、決済の済んだ項目を削除する削除ステップを更に備えることを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 1】 前記削除ステップは、決済の済んだ項目を決済済み取引内容格納ステップに格納することを特徴とする請求項 3 0 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 2】 利用者の要求に応じて該利用者の過去の決済履歴を表示する利用者決済履歴表示ステップをさらに有することを特徴とする請求項 2 5 記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 3】 前記オンライン決済方法は、利用者の取引先からの問い合わせに対し、該取引先で行われた取引内容の一覧を表示する取引内容一覧表示ステップを更に備えることを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 4】 取引先の要求に応じて該取引先の過去の決済履歴を表示す

る取引先決済履歴表示ステップをさらに有することを特徴とする請求項 3 3 記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 5】 前記口座取扱機関が複数ある場合、前記利用者に、どの口座取扱機関を使って振り込みを行うのが好ましいかを提示する口座取扱機関リコメンドステップを更に備えることを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 6】 前記利用者によって決済が終了した取引について、取引先に、該取引の代金が振り込まれたことを通知する振り込み通知ステップを有することを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 7】 前記取引内容格納ステップに、各取引の決済期限を設け、決済期限の所定時間前になったことに基いて、当該決済を利用者に予告通知する予告通知ステップを有することを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 8】 前記予告通知ステップは、利用者がこのオンライン決済方法にログインする際に、利用者に決済予告を通知するものであることを特徴とする請求項 3 7 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 3 9】 前記予告通知ステップは、利用者に電子メールで決済予告を通知するものであることを特徴とする請求項 3 7 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 0】 前記取引内容格納ステップに、各取引の決済期限を設け、該決済期限が経過した際には、当該取引に対応する前記取引内容を消去することを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 1】 前記取引内容が消去される前に、該取引内容に対応する取引が行われた前記取引先に、該取引内容が消去される旨の通知を行うことを特徴とする請求項 4 0 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 2】 前記取引内容が複数存在する場合、該複数の取引内容をグループ化し、1 回の振り込みによって、複数の取引内容に対する振り込みを終了させることを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 3】 前記グループ化した全ての取引内容に対する振込を行なう

と口座取扱機間の口座が残高不足となる場合に、前記グループ化した全ての取引内容に対する振込を停止させることを特徴とする請求項 4 3 記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 4】 前記取引内容格納ステップに格納される前記ショッピング内容は、前記利用者が取引の申込を行った時点で生成・格納され、前記代金が未払いになっている取引内容の一覧の表示、及び、代金の振り込みは、該利用者が取引の申込を行った後の時点で行われることを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 5】 前記未払いになっている取引内容の一覧の表示の際に、前記取引内容に関連した広告を該一覧と共に、前記利用者に提示することを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 6】 前記代金の振り込みに際し、前記利用者が利用する口座取扱機関の口座の残高を該利用者に提示することを特徴とする請求項 2 5 に記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 7】 前記未決済一覧表示ステップによって表示された取引内容の詳細情報を表示する取引内容詳細情報表示ステップをさらに有することを特徴とする請求項 2 5 記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 8】 前記取引内容詳細情報表示ステップは、取引に係る取引対象の情報を表示するものであることを取引対象情報表示ステップをさらに有するものであることを特徴とする請求項 2 5 記載のオンライン決済方法。

【請求項 4 9】 取引の決済をオンラインで行うためのオンライン決済処理を実現させるプログラムを格納した記録媒体であって、該処理は、

利用者の取引内容を格納する取引内容格納ステップと、

該利用者の問い合わせに従って、該取引内容格納ステップに格納された該取引内容の内、代金が未払いになっている取引内容を提示する未決済一覧表示ステップと、

該利用者が決済を行うべきとする取引内容について、該利用者に口座取扱機関を使って代金の振り込みを行わせる振り込みステップと、

を備えることを特徴とする記録媒体。

【請求項 5 0】 前記取引内容格納ステップは、利用者がオンラインで行なった取引の内容を、オンラインで受け取って格納するものであることを特徴とする請求項 4 9 記載の記録媒体。

【請求項 5 1】 前記取引内容格納ステップは、利用者がオフラインで行なった取引の内容を、利用者の取引先からオンラインで受け取って格納するものであることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 5 2】 前記取引先から利用者の取引内容を受け取ったことに基づいて、該利用者に対して決済要求を通知するステップをさらに備えることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 5 3】 前記口座取扱機関は、オンラインで振り込み手続が可能であることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 5 4】 前記取引内容格納ステップに格納された取引内容から、決済の済んだ項目を削除する削除ステップを更に備えることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 5 5】 前記削除ステップは、決済の済んだ項目を決済済み取引内容格納ステップに格納することを特徴とする請求項 5 4 に記載の記録媒体。

【請求項 5 6】 利用者の要求に応じて該利用者の過去の決済履歴を表示する利用者決済履歴表示ステップをさらに有することを特徴とする請求項 4 9 記載の記録媒体。

【請求項 5 7】 前記記録媒体は、利用者の取引先からの問い合わせに対し、該取引先で行われた取引内容の一覧を表示する取引内容一覧表示ステップを更に備えることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 5 8】 取引先の要求に応じて該取引先の過去の決済履歴を表示する取引先決済履歴表示ステップをさらに有することを特徴とする請求項 5 7 記載の記録媒体。

【請求項 5 9】 前記口座取扱機関が複数ある場合、前記利用者に、どの口座取扱機関を使って振り込みを行うのが好ましいかを提示する口座取扱機関リコメンドステップを更に備えることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 6 0】 前記利用者によって決済が終了した取引について、取引先に、該取引の代金が振り込まれたことを通知する振り込み通知ステップを有することを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 6 1】 前記取引内容格納ステップに、各取引の決済期限を設け、決済期限の所定時間前になったことに基いて、当該決済を利用者に予告通知する予告通知ステップを有することを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 6 2】 前記予告通知ステップは、利用者がこの記録媒体にログインする際に、利用者に決済予告を通知するものであることを特徴とする請求項 6 1 に記載の記録媒体。

【請求項 6 3】 前記予告通知ステップは、利用者に電子メールで決済予告を通知するものであることを特徴とする請求項 6 1 に記載の記録媒体。

【請求項 6 4】 前記取引内容格納ステップに、各取引の決済期限を設け、該決済期限が経過した際には、当該取引に対応する前記取引内容を消去することを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 6 5】 前記取引内容が消去される前に、該取引内容に対応する取引が行われた前記取引先に、該取引内容が消去される旨の通知を行うことを特徴とする請求項 6 4 に記載の記録媒体。

【請求項 6 6】 前記取引内容が複数存在する場合、該複数の取引内容をグループ化し、1 回の振り込みによって、複数の取引内容に対する振り込みを終了させることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 6 7】 前記グループ化した全ての取引内容に対する振込を行なうと口座取扱機間の口座が残高不足となる場合に、前記グループ化した全ての取引内容に対する振込を停止させることを特徴とする請求項 6 6 に記載の記録媒体。

【請求項 6 8】 前記取引内容格納ステップに格納される前記ショッピング内容は、前記利用者が取引の申込を行った時点で生成・格納され、前記代金が未払いになっている取引内容の一覧の表示、及び、代金の振り込みは、該利用者が取引の申込を行った後の時点で行われることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 6 9】 前記未払いになっている取引内容の一覧の表示の際に、前

記取引内容に関連した広告を該一覧と共に、前記利用者に提示することを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 7 0】 前記代金の振り込みに際し、前記利用者が利用する口座取扱機関の口座の残高を該利用者に提示することを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 7 1】 前記未決済一覧表示ステップによって表示された取引内容の詳細情報を表示する取引内容詳細情報表示ステップをさらに有することを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 7 2】 前記取引内容詳細情報表示ステップは、取引に係る取引対象の情報を表示するものであることを取引対象情報表示ステップをさらに有するものであることを特徴とする請求項 4 9 に記載の記録媒体。

【請求項 7 3】 利用者毎に決済に使用する口座の識別情報及び該口座の取扱機関の識別情報を管理する利用者管理手段と、

ネットワーク上で行った取引により支払いを行う第 1 利用者の識別情報と、該支払いを受ける第 2 利用者の識別情報と、該取引の内容を示す情報とを含む取引情報を、ネットワークを介して受信する取引情報受信手段と、

前記受信手段で受信した取引情報及び前記利用者管理手段で管理している情報に基づいて、前記利用者の識別情報から該当する口座の識別情報及び口座の取扱機関を求める手段と、

前記求めた第 1 利用者の該当する口座の取扱機関に、第 1 利用者の口座から第 2 利用者の口座への振り込み依頼を送信する送信手段と、  
を備えることを特徴とする取引管理装置。

【請求項 7 4】 前記第 1 利用者に関する情報及び取引の内容を示す情報を含む振り込み終了の通知を前記第 2 利用者にする完了通知手段を備えたことを特徴とする請求項 7 3 に記載の取引管理装置。

【請求項 7 5】 前記利用者管理手段で前記第 1 利用者の口座を複数個管理している場合であって、第 2 利用者の口座を取扱機関の識別情報に基づいて、好ましい口座を求める手段を有することを特徴とする請求項 7 3 に記載の取引管理装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを介したオンライン決済システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

今日、インターネットが普及し、インターネット上で様々なサービスが提供されてきている。その中でも、インターネット上で買い物を行い、代金を支払って、ユーザのもとに品物を届けるサービスが普及の兆しを見せている。このようなサービスが更に普及する場合、ユーザがネットワークを介して買い物を行った際の代金の支払い方法をより便利で確実なものとする必要がある。

【 0 0 0 3 】

図 3 5 は、代金の支払いをインターネットを介して銀行振込で行う場合の従来の処理方法を説明する図である。

利用者 1 0 は、店舗 1 2 の提供するホームページなどを見て商品の購入申し込みを行う。すると、店舗 1 2 は、最後に利用者に代金の支払い方法を尋ねる画面を表示する。商品の購入申し込みは、通常、この代金支払方法の決定によって完了する。利用者 1 0 は、この場合、例えば、銀行決済を選択して商品の注文を行ったとする。すると、次に、利用者 1 0 のブラウザ画面には、店舗 1 2 が利用可能な銀行の銀行名、支店名、口座番号などが表示される。利用者 1 0 は、このブラウザ画面に表示された口座に後日代金を振り込む必要がある。

【 0 0 0 4 】

利用者 1 0 は、実際に、この口座のある銀行 1 3 の支店に出向いて代金を振り込むことも可能であるが、インターネット 1 1 上での買い物においては、代金を振り込むべき口座のある銀行 1 3 の支店と利用者 1 0 の所在地とが地理的に離れていることが多い。従って、利用者 1 0 は、当該銀行 1 3 の提供するインターネット 1 1 を介した銀行振込サービスを利用する。

【 0 0 0 5 】



従って、利用者 1 0 は、再び、インターネット 1 1 経由で当該銀行 1 3 にアクセスし、銀行 1 3 のオンライン振り込み画面を表示させる。ここでは、通常の銀行振込と同様に、振り込み先、振り込み番号、振り込み金額などの入力及要求される。このとき、利用者 1 0 は、以前に店舗 1 2 からオンライン購入した商品の代金を覚えておき、この金額を自分の口座から振り込むようにする。しかし、利用者 1 0 が多数の商品の購入を行っていたり、振り込み日が購入日のずっと後になる場合には、利用者 1 0 が代金を覚えていることは難しく、また、メモにしておくとしても利用者 1 0 の負担が大きい。従って、店舗 1 2 に商品の代金が正しく支払われない状況が発生しうる。

【 0 0 0 6 】

また、店舗 1 2 は、利用者 1 0 に正しく代金の振り込みを行ってもらおうとする場合、インターネット 1 1 経由で商品購入した利用者 1 0 全てについて、売り上げ代金を管理していなくてはならないので、やはり、店舗 1 2 の負担が大きい。

【 0 0 0 7 】

更に、利用者 1 0 が自分の口座から店舗 1 2 の口座に振り込みを行おうとしても、自分の口座の残高が商品の代金以上ないと、銀行 1 3 からオンライン振り込みを拒否されることもある。この場合、利用者 1 0 は、自分の口座に十分なお金 が た ま っ て か ら 払 お う と す る が、それまでに多くの時間がたってしまうことは、多々あることであり、したがって、やはり、購入商品の代金振り込みが滞ることが起こりやすい。

【 0 0 0 8 】

従って、店舗 1 2 が、売り上げた商品の代金が正しく振り込まれたか否かをチェックする「消し込み作業」が非常に大変となる。また、店舗 1 2 の代わりに、銀行 1 3 が「消し込み作業」を代行するとしても、店舗 1 2 の負担が銀行に移っただけであると共に、銀行 1 3 は、店舗 1 2 に正しく代金が振り込まれたか否かを通知する必要があり、かえって作業量が増加してしまう。

【 0 0 0 9 】

【発明が解決しようとする課題】

以上のように、現在は、オンライン上で口座振り込みを行う場合、利用者 1 0 自らが煩雑な振り込み処理を操作する必要がある。

【 0 0 1 0 】

利用者 1 0 からすれば、振り込み処理を利用者 1 0 自身が記憶しなければいけない。振り込むべき案件を複数ため込んでしまえば、それぞれ金額・決済期限がことなるので、ますます記憶が煩雑になる。実際の振り込み処理でも、振り込み先や金額などの入力作業も煩雑になる。

【 0 0 1 1 】

オンライン店舗 1 2 からすれば、上記のような利用者 1 0 の問題で商談不成立となれば売り上げに影響する。また、一般に、銀行振込による代金入金は「消し込み作業」が煩雑である。

【 0 0 1 2 】

口座取り扱い機関（銀行 1 3）からすれば、従来、「消し込み作業」の代行サービスを行う場合、一注文に付き仮想の口座を設け、その口座へ振り込む方式があるが、この方式では、一時的とはいえ、口座を増やす必要があり、口座番号など取り扱い機関のリソースに負荷が加わる。更に「消し込み作業」の情報提供を店舗に行う必要がある。

【 0 0 1 3 】

本発明の課題は、利用者のオンラインショッピングにおいて、代金の支払いを正確に、かつ、簡単に行うことが出来るシステムを提供することである。

【 0 0 1 4 】

【課題を解決するための手段】

本発明のオンライン決済システムは、取引の決済をオンラインで行うためのオンライン決済システムであって、利用者の取引内容を格納する取引内容格納手段と、該利用者の問い合わせに従って、該取引内容格納手段に格納された該取引内容の内、代金が未払いになっている取引内容を提示する未決済一覧表示手段と、該利用者が決済を行うべきとする取引内容について、該利用者に口座取扱機関を使って代金の振り込みを行わせる振り込み手段と、を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

本発明のオンライン決済方法は、取引の決済をオンラインで行うためのオンライン決済方法であって、利用者の取引内容を格納する取引内容格納ステップと、該利用者の問い合わせに従って、該取引内容格納ステップに格納された該取引内容の内、代金が未払いになっている取引内容を提示する未決済一覧表示ステップと、該利用者が決済を行うべきとする取引内容について、該利用者に口座取扱機関を使って代金の振り込みを行わせる振り込みステップと、を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

本発明によれば、オンライン決済システムが、利用者が行ったオンライン、オフラインでの取引の内容を格納し、必要に応じて利用者に提示することが出来るので、利用者が自分でショッピング等の取引履歴を管理する労力を削減することが出来る。

【 0 0 1 7 】

したがって、取引代金の振り込み忘れを防止することが出来、オンラインショッピング等の代金振り込みをより確実に行うことが出来る。また、店舗が自店舗で行われたオンライン及びオフラインでのショッピング履歴を管理する負担が減る。

【 0 0 1 8 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明の実施形態の処理の概念を説明する図である。

本発明の実施形態においては、店舗 2 1 と銀行（口座取扱機関 2 2）をネットワーク（インターネット 2 4）上で連携させる請求管理サーバ 2 3 を設ける。店舗 2 1 の商品注文画面で利用者が振り込み支払いを選択すると、請求管理サーバ 2 3 が商品情報・金額・利用者情報、及び店舗の要求する決済期限などを蓄積する。

【 0 0 1 9 】

請求管理サーバ 2 3 が、この要振り込みデータを一覧表示し、利用者に案件を選択させ、銀行画面へ誘導し、振り込み処理をさせる。要振り込み一覧は、そのデータを口座取扱機関 2 2 のサーバへ提供し、口座取扱機関 2 2 が表示する場合

もある。

【 0 0 2 0 】

また、請求管理サーバ 2 3 は、口座取扱機関 2 2 から振り込み処理の情報データを受け取ることで、店舗 2 1 側に対して、振り込み入金による注文照会と同時に、各注文の未入金・入金済みのステータスを提供する。また、利用者也決済完了した注文をある期間参照できる。

【 0 0 2 1 】

本発明の実施形態の適用サービスとしては、E C (e-commerce) の決済、公共料金振り込み（都度払いの場合）などがあり、請求管理サーバ 2 3 と連携してサービスを提供する口座取扱機関 2 2 は、銀行・郵便局・証券・保険など口座を取り扱う機関などである。

【 0 0 2 2 】

図 1 に基づいて、本発明の実施形態の処理の流れの概略を説明する。

まず、利用者 2 0 がインターネット 2 4 経由で店舗 2 1 で買い物をするとする

すると、店舗 2 1 のホームページのブラウザ画面には、代金の支払い方法を尋ねる表示がされる。利用者 2 0 が「決済予約」を選択すると、請求管理サーバ 2 3 の提供する決済予約サービスの画面に切り替わる。ここで、利用者 2 0 は、I D 番号やパスワードを入力するなどして、請求管理サーバ 2 3 を利用するための認証を受ける。請求管理サーバ 2 3 の決済予約サービス画面では、振り込みを今行うか、後に行うかを尋ねる。後に振り込みを行う場合には、請求管理サーバ 2 3 のサービスから抜けることになる。

【 0 0 2 3 】

後に振り込む場合には、利用者 2 0 は、後日、再び請求管理サーバ 2 3 にアクセスし、決済予約サービスを受けるための認証を受けて、決済予約サービスのメニュー画面を表示させる。メニュー画面には、「口座登録・変更」「未決済一覧・振り込み」「決済完了分一覧」など当システムに必要な選択項目がある。このメニュー画面において、「未決済一覧・振り込み」メニューを選択すると、利用者 2 0 のブラウザ画面には、どこの店舗 2 1 で、いつ、いくら買い物をしたか

が、一覧として表示される。この一覧に表示されるのは、代金の振り込みを行っていない商品である。

【 0 0 2 4 】

利用者 2 0 は、一覧から自分が代金の振り込みを行う商品を選択する。すると、請求管理サーバ 2 3 は、振り込み決済を行うために選択された商品について、その金額・商品詳細など注文情報を表示する。そして、利用者 2 0 が振り込み処理を行う旨を指示すると、請求管理サーバ 2 3 から、これらのデータが口座取扱機関 2 2 に送られ、振り込み確認画面において、振り込み決済を行う商品の一覧が表示されると共に、振り込みを行うための、振り込み番号や振り込みパスワード、銀行口座番号などの入力指示が行われる。利用者 2 0 がこれらの入力を行うと、振り込み決済が行われる。

【 0 0 2 5 】

このとき、消し込み処理は、各請求毎に請求番号及び期限を持たせることによって、請求管理サーバ 2 3 において自動的に行われることが好ましい。また、請求管理サーバ 2 3 のサービスに加入している店舗 2 1 では、自分の店舗に関する注文状況を一覧として見ることができ、同時に、請求管理サーバ 2 3 が行った消し込み処理の結果、どの商品については、入金がされており、どの商品については未決済であるかがすぐに分かるようになっている。

【 0 0 2 6 】

以上のような本実施形態によれば、利用者 2 0 は、自分の行ったオンラインショッピングの履歴を全て、自分でチェックしておかなくても、請求管理サーバ 2 3 にアクセスするだけで、簡単にオンラインショッピングの履歴が分かると共に、未決済商品の決済を容易に行うことが出来る。

【 0 0 2 7 】

また、消し込み処理を請求管理サーバ 2 3 が自動的に行うことができるので、口座取扱機関 2 2 では、代金の振り込み処理だけを行えばよく、店舗 2 1 においても、商品の代金未納状況を簡単に把握でき、店舗 2 1、口座取扱機関 2 2 の処理も非常に簡素化される。

【 0 0 2 8 】

図 2 ～ 図 8 は、複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における処理の流れを示すシーケンス図である。

図 2 ～ 図 4 は、加盟店及び利用者の請求管理サーバへの口座登録処理を示すシーケンス図である。

【 0 0 2 9 】

まず、請求管理サーバのサービスの加盟店が請求管理サーバに、自店舗の利用する口座を登録する場合には、請求管理サーバにアクセスし、店舗情報入力画面を表示させる。加盟店は、請求管理サーバの画面の内、口座登録画面を表示させる。すると、加盟店の店名と店 ID と共に、登録すべき口座取扱機関の名称、口座の種類、口座番号の入力・選択画面が表示される。加盟店では、これらに必要な事項を入力・選択し、登録ボタンを押す。

【 0 0 3 0 】

すると、請求管理サーバでは、加盟店の口座情報を取得し、口座取扱機関に、口座の存在を確認するための要求を出す。口座取扱機関では、口座情報を保持している口座データベースにアクセスし、請求管理サーバから問い合わせのあった口座が実際に存在するか否かを調べ、請求管理サーバへ通知する。請求管理サーバでは、実際に口座が存在した場合には、口座情報を店舗データベースに保存し、口座登録が完了した旨の画面を加盟店に表示する。

【 0 0 3 1 】

このようにして、加盟店の口座登録処理が終了する。

利用者の口座登録は、加盟店の場合と同様であって、請求管理サーバのサービスに加入した利用者は、請求管理サーバにアクセスし、ユーザ情報入力画面を表示させる。すると、利用者の画面には、口座登録画面が表示される。口座登録画面においては、利用者の氏名、利用者の ID と共に、登録すべき銀行名、口座の種類、口座番号を入力・選択する画面が表示される。利用者は、自分が利用する口座の情報を入力・選択し、登録ボタンを押す。すると、口座情報が請求管理サーバに転送される。請求管理サーバでは、口座情報を取得し、口座情報に含まれる口座取扱機関に、口座の存在確認要求を出す。口座取扱機関では、口座に関する情報を格納する口座データベースを検索して、口座の有無を請求管理サーバに

送信する。請求管理サーバでは、口座が存在している場合には、ユーザデータベースに口座情報を保存し、口座の登録が完了したことを示す、確認画面の表示を行う。利用者は、請求管理サーバから送られてきた口座確認画面で、自分が登録した口座を確認して処理を終了する。

#### 【 0 0 3 2 】

図 3 及び図 4 は、請求管理サーバが後決済のショッピング注文の受付を行う場合の処理の流れを示すシーケンス図である。

まず、加盟店は、インターネット上で販売する商品をホームページなどに表示する。利用者は、このホームページの表示を見て、加盟店から商品の購入注文を出す。加盟店のサーバでは、利用者からの商品購入注文があると、次に、利用者情報を入力する画面を表示する。この画面には、利用者の名前、住所、電話番号の他、注文のあった商品とその値段や支払い方法の入力指示が含まれる。

#### 【 0 0 3 3 】

利用者が、利用者情報入力画面において、必要な事項を入力し、支払い方法として「決済予約」を選択した場合には、注文情報が請求管理サーバに転送される。

#### 【 0 0 3 4 】

請求管理サーバでは、注文情報を取得し、注文を登録する。そして、利用者に請求管理サーバを利用可能なユーザか否かを認証するための確認要求画面を提示する。利用者は、確認要求画面において、自分の ID やパスワードを入力して、請求管理サーバに転送する。ユーザ情報を受け取った請求管理サーバは、ユーザデータベースを検索して、ユーザの確認を行い、ユーザが正規の登録ユーザである場合には、当該注文に注文番号を付して、注文データベースに登録する。

#### 【 0 0 3 5 】

そして、注文の登録が終わると、利用者向けには、注文受付完了画面を表示する。このとき、注文の内容と共に、店舗データベースから取得した店舗情報を表示する。また、加盟店に対しては、やはり、請求管理サーバが利用者から注文を受け取ったことを確認する注文受付完了通知を送信する。このとき、ユーザデータベースからユーザ情報を取得して、ユーザ情報を該注文受付完了通知に含める

## 【 0 0 3 6 】

利用者に提示される注文受付完了画面においては、決済予約を行うか否かの入力が求められる。利用者が後で決済することを選択すると、これが請求管理サーバに転送され、利用者向けの受付完了表示が行われる。この受付完了表示においては、利用者に後決済である旨の注意が表示される。

## 【 0 0 3 7 】

図 5 及び図 6 は、後決済の場合の決済処理の流れを示すシーケンス図である。

利用者が決済を行うために、請求管理サーバにアクセスすると、請求管理サーバからは、ユーザ確認要求画面が表示される。利用者は、この画面の表示に従って、自分の ID とパスワードを入力する。このユーザ情報は、請求管理サーバに送られ、ユーザデータベースの内容と比較される。この結果、利用者が正当な利用者であると判断されると、注文データベースを検索して、未決済データの作成を行う。更に、請求管理サーバは、口座取扱機関にアクセスして、利用者の使用する口座の残高データの取得を要請する。口座取扱機関では、口座データベースを参照して、口座残高データを請求管理サーバに送信する。

## 【 0 0 3 8 】

請求管理サーバは、未決済データと口座残高データを元に、未決済一覧を作成し、利用者の画面に未決済一覧を表示する。利用者が未決済一覧に決済指示の入力を行うと、この情報が請求管理サーバに転送され、後述するような、どの口座を利用することを推奨するか（利用口座リコmend）や、注文のグループ化などのサービスを行う。これらのサービスは、店舗データベース、手数料データベース、グループデータベース（いずれも後述）を検索することによって行う。

## 【 0 0 3 9 】

利用者が未決済一覧への入力・選択を行い、振り込み処理を指示すると、商品の注文番号あるいは、グループ化した場合には、グループ番号、口座情報、注文情報が請求管理サーバに転送される。請求管理サーバは、これらの情報を受け取ると、口座取扱機関に対し、振り込みデータを送信する。

## 【 0 0 4 0 】



振り込みデータを受信した口座取扱機関では、ネットワークを介しての口座振り込みサービスの利用認証を行うために、利用者に対して、支店番号、口座番号、及びパスワードなどの入力を要求する。利用者が認証されると、ユーザ口座から加盟店の口座への振り込み処理が行われ、振り込み結果画面が利用者の画面に表示される。また、請求管理サーバには、振り込み完了通知が通知される。

## 【 0 0 4 1 】

振り込み完了通知を受け取った請求管理サーバは、決済処理（消し込み処理）を行い、グループデータベース、注文データベースを更新して、加盟店宛に商品の代金の入金があったことを電子メールが通知する。

## 【 0 0 4 2 】

請求管理サーバは、ユーザデータベースと注文データベースを参照して、未決済データを作成し、口座残高データベースの取得を依頼する。口座取扱機関は、口座データベースを参照して、新たな口座残高を取得し、これを請求管理サーバに転送する。請求管理サーバは、これら更新された未決済データと口座残高データを基に、未決済一覧を生成して、利用者に提示する。これにより、利用者が決済した商品情報は、未決済一覧から消去され、残りの未決済の購入商品と、口座の残高が示される。利用者が、更に、振り込み処理を行う場合には、前述の処理と同じ処理が行われる。また、振り込み処理を終了する場合には、そのまま請求管理サーバへのアクセスを終了する。

## 【 0 0 4 3 】

なお、前記未決済一覧からの消去は、前記商品情報に決済済みのフラグを立てること、若しくは未決済のフラグを削除することにより実行される。そして、この決済済みの商品情報は、決済履歴として店舗及び利用者によって参照できるように構成されている。すなわち、決済済みの商品情報を店舗毎及び利用者毎に纏めてこれらの者に表示することによって、店舗及び利用者が過去の決済履歴を照会することができるようになっている。

## 【 0 0 4 4 】

また、ここで、このシステムは、利用者及び店舗の双方が、未決済一覧及び決済履歴から、各ショッピングにおける商品内容等の決済データの詳細を表示でき

るように構成されていることが好ましい。

【 0 0 4 5 】

図 7 及び図 8 は、複数の口座取扱機関に対応する場合であって、即時決済を行う場合の処理の流れを示すフローチャートである。

まず、利用者が請求管理サーバにアクセスしており、決済予約サービス画面において、即時決済を選択したものとする。すると、請求管理サーバでは、利用者から注文番号を取得し、未決済データを作成する。次に、請求管理サーバは、口座取扱機関に口座の残高を問い合わせる。口座取扱機関では、口座データベースを参照して、口座残高データを取得し、請求管理サーバに送信する。そして、利用者が決済を行うと示した注文を表示し、利用口座リコメンドを行う。この場合、請求管理サーバは、ユーザデータベース、注文データベース、店舗データベース、及び手数料データベースを参照する。

【 0 0 4 6 】

利用者側で口座を選択し、振り込み指示すると、口座情報が振り込みデータとして、請求管理サーバに一旦送信され、請求管理サーバから当該口座の存在する口座取扱機関に対し、口座番号、注文情報及び注文番号が送信される。口座取扱機関では、口座振り込みサービスの認証を行うために、利用者に支店番号、口座番号、及びパスワードの入力を指示する。ユーザがこれらを入力し、口座取扱機関でユーザの認証が成功すると、振り込み処理を行う。

【 0 0 4 7 】

ユーザ口座から店舗の口座への振り込みが完了すると、口座取扱機関は、振り込み結果画面を利用者に提示する。また、振り込み完了通知を請求管理サーバに通知する。振り込み完了通知を受け取った請求管理サーバは、決済処理（消し込み処理）を行い、注文データベースを更新すると共に、利用者に決済が完了したことを示す画面を表示する。更に、請求管理サーバは、加盟店に対し、注文データベース及び店舗データベースを参照して、商品の代金の振り込みが終了したことを電子メールにて通知する。

【 0 0 4 8 】

図 9 は、上記実施形態の注文受付処理のフローチャートである。

まず、ステップ S 1 0 において、利用者から注文情報が入力され、決済予約の選択が行われる。次に、ステップ S 1 1 において、店舗 I D 及び注文情報の取得を行う。そして、ステップ S 1 2 において、利用者へ請求管理サーバのサービスへのログイン画面を表示する。そして、ステップ S 1 3 において、利用者の I D とパスワードをチェックし、決済予約サービスにログインさせるか否かを判断する。I D、パスワードの認証が成功しなかった場合には、ステップ S 1 4 において、ログイン拒否を行う。また、利用者の認証に成功した場合には、ステップ S 1 5 において、ユーザ I D を取得する。

## 【 0 0 4 9 】

次に、ステップ S 1 6 において、注文テーブルと注文番号を作成し、ステップ S 1 7 で、加盟店（店舗）に決済予約サービスの受付メールを発信する。また、利用者に対しては、注文の受付表示と決済選択表示を行う（ステップ S 1 8）。そして、利用者の入力に基づいて、ステップ S 1 9 において、即決済か後決済かを判断する。即時決済である場合には、ステップ S 2 0 において、即時決済処理を行う。また、後決済である場合には、ステップ S 2 1 において受付完了表示を行う。

## 【 0 0 5 0 】

図 1 0 は、未決済一覧の表示処理を示すフローチャートである。

まず、ステップ S 3 0 において、利用者が未決済一覧の表示を選択する。すると、ステップ S 3 1 において、決済予約サービスへのログイン画面が表示される。そして、利用者は、この画面にユーザ I D と、パスワードを入力する。利用者の認証が失敗した場合には、ステップ S 3 2 において、ログイン拒否を行う。利用者の認証が成功した場合には、ステップ S 3 3 に進んで、注文データベースからユーザ I D に該当する未決済注文を書き出す。そして、ステップ S 3 4 において、他に該当する未決済注文があるか否かを判断し、まだ、存在する場合には、ステップ S 3 3 に戻って、未決済注文の書き出しを行う。ステップ S 3 4 において、他に該当する未決済注文が無い場合には、ステップ S 3 5 に進む。

## 【 0 0 5 1 】

ステップ S 3 5 においては、ユーザデータベースからユーザ I D に該当する銀

行（口座取扱機関）から口座番号を呼び出す。ステップ S 3 6 において、該当する銀行の口座から残高情報を取得する。そして、ステップ S 3 7 において、他に口座があるか否かが判断され、他に口座がある場合には、ステップ S 3 6 に進んで、その口座から残高情報を取得する。ステップ S 3 7 において、他に口座がないと判断された場合には、ステップ S 3 8 に進んで、未決済注文、未決済注文の合計額及び各口座の残高、残高合計を利用者に対し表示する。利用者は、決済する場合には、ステップ S 3 9 に進んで、決済する注文を選択する。また、利用者が未決済一覧の表示を編集したい場合には、ステップ S 4 0 に進んで、並べ替えしたいソート項目を選択し、ステップ S 4 1 において、ソート処理及びソート結果の表示を行う。

#### 【 0 0 5 2 】

図 1 1 及び図 1 2 は、振り込み元口座の選択から振り込み処理までの処理を示すフローチャートである。

まず、ステップ S 5 0 において、未決済一覧の表示選択を行う。ステップ S 5 1 において、請求管理サーバへのサービスのログインをユーザ ID 及びパスワードによって行う。利用者の認証が失敗した場合には、ステップ S 5 2 において、ログインを拒否する。利用者の認証が成功した場合には、ステップ S 5 3 において、未決済注文及び各口座残高の画面表示を行う。この処理は、図 1 0 で説明した処理を行う。そして、ステップ S 5 4 において、決済する注文の選択を行い、ステップ S 5 5 において、利用口座の選択を行い、決済した際の該当口座の予想残高を表示する。ステップ S 5 6 において、利用者が決済要求を行う。

#### 【 0 0 5 3 】

すると、ステップ S 5 7 において、該当口座の銀行を呼び出し、ステップ S 5 8 において、当該銀行へ口座番号、注文情報、及び注文番号を一括送信する。ステップ S 5 9 においては、銀行の振り込みサービスを受けるために、利用者は、ID とパスワードの入力を行う。利用者の認証が失敗した場合には、ステップ S 6 0 に進んで、利用者の銀行サービスへのログインを拒否する。利用者の認証が成功した場合には、ステップ S 6 1 において、銀行側で振り込み処理を行う。振り込み処理が失敗に終わった場合には、ステップ S 6 3 に進み銀行側が利用者に

対しエラー表示を行う。ステップ S 7 5 において、当該銀行口座で処理すべき要求がまだ他にあれば、ステップ S 6 1 に戻って、処理をする。当該口座で処理すべき決済要求が無いと判断された場合には、ステップ S 6 4 に進む。そして、ステップ S 6 4 において、他口座に決済要求があるか否かを判断し、他に決済要求がない場合には、ステップ S 7 0 に進む。他口座に決済要求がある場合には、他口座の注文の呼び出しを行い（ステップ S 6 5）、ステップ S 5 7 に戻る。

## 【 0 0 5 4 】

ステップ S 6 1 において、振り込み処理が成功した場合には、ステップ S 6 2 において、銀行側で振り込み結果を画面表示する。そして、ステップ S 6 6 において、請求項管理サーバが決済完了情報を取得し、ステップ S 6 7 において、該当注文のフラグ（決済済みか未決済かを区別するために設けたフラグ）を未決済から決済済みに設定し、ステップ S 6 8 において、店舗（加盟店）に対し、入金完了を知らせる電子メールを送信する。

## 【 0 0 5 5 】

そして、ステップ S 7 6 において、当該銀行の口座で処理すべき要求がまだ他にあると判断された場合には、図 1 1 のステップ S 6 1 に戻って、処理をする。ステップ S 7 6 において、他の決済要求が無いと判断された場合には、ステップ S 6 9 において、他口座に決済要求があるか否かを判断する。まだ、他口座の決済要求がある場合には、ステップ S 7 1 に進み、他口座の注文を呼び出して、ステップ S 5 7 に戻る。ステップ S 6 9 において、他に決済要求がないと判断した場合には、ステップ S 7 0 において、更新された未決済注文、注文の合計額及び各口座残高・残高の合計を利用者に対し表示し、ステップ S 7 2 において、利用者に再び決済するか否かを問い合わせる。ステップ S 7 2 において、利用者が再び決済する旨指示した場合には、ステップ S 7 3 において、図 1 1 のフローのはじめに戻る。また、ステップ S 7 2 において、決済を終了する旨を利用者が指示した場合には、ステップ S 7 4 において、処理を終了する。

## 【 0 0 5 6 】

図 1 3 は、利用者に利用口座リコmendを行うための処理を示すフローチャートである。

まず、ステップ S 8 0 において、利用者が決済する注文及び口座の指定ボタンを操作する。次に、ステップ S 8 1 において、利用者が注文の選択を行う。すると、請求管理サーバでは、ステップ S 8 2 において、ユーザデータベースから該当するユーザテーブルを読み出し、店舗データベースから該当店舗テーブルを呼び出す。そして、ステップ S 8 3 において、1 番目のユーザ口座を呼び出し、ステップ S 8 4 において、注文番号、ユーザ口座、注文情報をリコメンドテーブルへ書き込む。そして、ステップ S 8 5 において、手数料データベースを参照しながら注文価格とユーザ口座から最低振り込み料の店舗口座を判断する。そして、店舗口座と振り込み料を表示用テーブルに書き込み、ステップ S 8 7 において、ユーザ口座が他にあるか否かを判断する。ステップ S 8 7 において、他にユーザ口座があると判断された場合には、ステップ S 8 8 において、次のユーザ口座の呼び出しを行い、ステップ S 8 4 に戻る。

## 【 0 0 5 7 】

ステップ S 8 7 において、ユーザ口座が他にないと判断された場合には、ステップ S 8 9 において、表示用テーブルに書き込まれたデータを元に、手数料の安い順に口座取扱機関とその手数料を画面表示する。そして、ステップ S 9 0 において、利用者が該画面表示を見て、口座を指定し、ステップ S 9 1 において、該当口座の予想残高を計算し、表示する。そして、ステップ S 9 2 において処理を終了する。

## 【 0 0 5 8 】

ここで、ステップ S 8 5 の最低振り込み料の店舗口座は、後述する決済手数料テーブルを検索し、最も振り込み料の小さい店舗口座を見つける処理となる。

図 1 4 及び図 1 5 は、決済注文のグループ化を行うための処理を示すフローチャートである。

## 【 0 0 5 9 】

まず、ステップ S 1 0 0 において、未決済注文及び各口座残高の画面表示を利用者に対して行う。次に、ステップ S 1 0 1 において、利用者が注文／利用口座選択ボタンを操作し、グループ化を指定すると、ステップ S 1 0 2 において、グループテーブルを作成する処理を開始する。ステップ S 1 0 3 において、利用者

にグループ化する注文を選択させ、ステップ S 1 0 4 において、既に指定された注文で同一店舗があるか否かを判断する。ステップ S 1 0 4 の判断が TRUE の場合には、ステップ S 1 0 5 において、既存の該当テーブルに注文番号を追加し、ステップ S 1 0 6 において、既存の該当テーブルに振り込み金額を合算する。そして、ステップ S 1 0 7 において、注文内容の追加を行い、ステップ S 1 0 8 において、既定口座及び振り込み料の表示、及び残高の表示を行って、ステップ S 1 1 3 に進む。

## 【 0 0 6 0 】

一方、ステップ S 1 0 4 において、ステップ S 1 0 9 において、判断が FALSE の場合には、新たなグループ番号を作成し、ステップ S 1 1 0 において、注文番号を追加し、ステップ S 1 1 1 において、注文内容の追加を行う。そして、ステップ S 1 1 2 において、口座の指定を利用者に行わせ、残高計算を行って、結果を表示し、ステップ S 1 1 3 に進む。

## 【 0 0 6 1 】

ステップ S 1 1 3 においては、他に決済要求があるか否かが判断され、他の決済要求がある場合には、ステップ S 1 0 3 に戻る。一方、他に決済要求がない場合には、ステップ S 1 1 4 に進む。ステップ S 1 1 4 においては、グループテーブルの注文番号を呼び出し、ステップ S 1 1 5 において、利用ユーザ口座の銀行を呼び出し、グループ番号、振り込み情報をこの銀行に送信する。

## 【 0 0 6 2 】

そして、ステップ S 1 1 6 において、銀行側で口座認証、振り込み処理、振り込み完了通知を行い、これらの処理が正常に行われたか否かを判断する。正常に上記処理が行われなかった場合には、ステップ S 1 1 7 において、エラー表示を行い、ステップ S 1 2 0 に進む。ステップ S 1 1 6 において、上記処理が正常に行われた場合には、ステップ S 1 1 8 に進み、請求管理サーバでグループ番号に対応する注文のステータスを変更する。そして、ステップ S 1 1 9 において、店舗に対して、注文毎に入金完了メールを電子メールで送信する。

## 【 0 0 6 3 】

ステップ S 1 2 0 では、振り込みテーブルに未処理のものが存在するか否かが

判断され、未処理が有ると場合には、ステップ S 1 2 1 に進み、ステップ S 1 1 5 に戻る。ステップ S 1 2 0 において、振り込みテーブルに未処理がないと判断された場合には、ステップ S 1 2 2 において、グループテーブルを削除し、ステップ S 1 2 3 において、更新された未決済注文及び各口座残高を示す画面を表示する。そして、ステップ S 1 2 4 において、利用者に再び決済するか否かを判断させ、再び決済する場合には、ステップ S 1 2 5 において、スタートに戻る。一方、ステップ S 1 2 4 において、利用者が再決済を行わないと判断した場合には、ステップ S 1 2 6 で、処理を終了する。

## 【 0 0 6 4 】

図 1 6 は、決済期日が過ぎた注文を削除する場合に店舗とユーザに予告メッセージを送信する処理のフローチャートである。

まず、ステップ S 1 3 0 において、利用者が買い物をした店舗を登録する時に、期限日数、メール発信時期を設定する。次に、ステップ S 1 3 1 において、注文情報を取得する。そして、ステップ S 1 3 2 において、送られた情報に決済期限があるか否かを判断する。決済期限がある場合には、ステップ S 1 3 3 において送られた決済期限を注文テーブルに書き込み、ステップ S 1 3 5 に進む。ステップ S 1 3 2 において、決済期限がない場合には、ステップ S 1 3 4 において、期限を注文日から自動計算し、注文テーブルに書き込み、ステップ S 1 3 5 に進む。

## 【 0 0 6 5 】

ステップ S 1 3 5 では、期限よりメール発信日を算出し、メール発信日及び未送信ステータスを注文テーブルに書き込む。ステップ S 1 3 6 では、期限以外の注文情報を注文テーブルに書き込み、ステップ S 1 3 7 に進む。ステップ S 1 3 7 では、未送信ステータスを有する注文のメール発信日と現在の日とを比較する。ステップ S 1 3 7 の比較の結果、メールの発信日と現在の日とが異なる場合には、ステップ S 1 3 7 の処理を繰り返す。ステップ S 1 3 7 において、メールの発信日と現在の日とが等しくなった場合には、ステップ S 1 3 8 において、店舗、及びユーザへ期限予告メールを発信し、ステップ S 1 3 9 において、該当注文テーブルに送信済みステータスを設定して、ステップ S 1 3 7 に戻る。



なお、この期限予告メールは、前記決済期限の所定日数前に発信するようにしても良い。また、利用者がシステムがログインした直後の画面において期限予告通知を行なうようにしても良い。

【 0 0 6 6 】

図 1 7 は、未決済一覧画面上に関連広告を掲載するための処理のフローチャートである。

本実施形態では、未決済一覧画面に、利用者が購入した商品に関連するバナー (Banner) 広告などを表示することによって、利用者が関心のあると思われる商品の宣伝をし、商品の販売促進を行うことが可能である。

【 0 0 6 7 】

まず、ステップ S 1 4 0 において、広告主からの広告表示の依頼の受け入れ時に、広告する商品のカテゴリ、関連ワードの登録を行う。次に、ステップ S 1 4 1 において、未決済一覧の表示要求があると、ステップ S 1 4 2 において、該当する前注文テーブルから商品名とカテゴリを読み込む。そして、ステップ S 1 4 3 において、ステップ S 1 4 2 で読み込まれた情報にカテゴリが含まれているか否かを判断する。カテゴリが含まれている場合には、ステップ S 1 4 7 において、カテゴリに一致する広告があるか否かを判断する。カテゴリに一致する広告がある場合には、ステップ S 1 4 8 において、該乙の広告を表示する。そして、ステップ S 1 4 9 において、広告の表示記録を取って、処理を終了する。

【 0 0 6 8 】

ステップ S 1 4 3 において、ステップ S 1 4 2 で読み込まれた情報にカテゴリがないと判断されるか、ステップ S 1 4 7 において、カテゴリに一致する広告がないと判断された場合には、ステップ S 1 4 4 において、商品と関連ワードが一致する広告があるか否かを判断する。ステップ S 1 4 4 において、一致する広告がある場合には、ステップ S 1 5 0 において、該当広告の表示を行い、ステップ S 1 5 1 において、表示記録を取り、処理を終了する。

【 0 0 6 9 】

ステップ S 1 4 4 において、商品と関連ワードが一致する広告がないと判断された場合には、ステップ S 1 4 5 において、任意の広告表示を行い、ステップ S

146において、表示記録を取り処理を終了する。

【0070】

図18は、店舗が請求管理サーバに注文ステータスを問い合わせてきたときの処理を示すフローチャートである。

ステップS160において、店舗から注文照会画面の表示要求があると、ステップS161において、請求管理サーバが提供する決済予約サービスへのログイン手続のため、店舗のIDとパスワードの入力を指示する。ステップS161において、店舗の認証が失敗すると、ステップS162において、ログインを拒否する。ステップS161において、店舗の認証が成功すると、ステップS163において、店舗IDを取得する。

【0071】

そして、店舗からの要求が、未決済注文照会要求である場合には（ステップS164）、ステップS165に進み、店舗IDに合致する未決済ステータステーブルを選択し、ステップS166において、未決済の全テーブルを表示して処理を終了する。店舗からの要求が、全注文照会要求である場合には（ステップS167）、ステップS168において、店舗IDに合致する全注文テーブルを呼び出し、ステップS169において、全注文テーブル表示を行う。全注文テーブルは、決済済みステータスや利用口座などを含んでいる。

【0072】

また、店舗からの要求が、決済済み注文照会である場合には（ステップS170）、店舗IDに合致する決済済みステータステーブルを選択し、ステップS172において、決済済みの全テーブルを表示する。このとき、利用口座を表示する。

【0073】

図19は、未決済一覧画面の未決済処理選択画面の一表示例を示す図である。

同図に示すように、未決済一覧表示においては、決済すべき注文とその合計額が表示される。図19の場合においては、A商店で靴を3,150円で購入し、B商店で帽子を2,100円で購入し、C商店で家具を8,400円で購入していることが示されている。また、購入合計額は、136,650円であることが

示されている。

【0074】

また、未決済一覧には、現在利用者が登録している口座の銀行名と口座の種類、口座番号、残高が表示されている。図19の場合、利用者は、A銀行とB銀行の口座を登録しており、それぞれ残高は、358,900円と132,651円であり、合計491,551円であることが示されている。

【0075】

また、画面の下方には、振り込みを行わないことを指示するボタンと、振り込みを行うために注文と使用口座を指定する画面に移行するためのボタンとが示されている。

【0076】

図20は、未決済一覧画面の注文／口座設定処理画面の一表示例を示す図である。

図20の画面では、振り込みを行うための注文選択と口座選択を行う様子が示されている。決済すべき注文としては、A商店での買い物と、B商店での買い物とが選択されており、合計5,250円の支払いが必要であることが示されている。また、とくに利用口座リコメンドの場合、注文選択画面の右側には、これらの注文の代金の振り込みを行う場合に、A銀行を使った場合とB銀行を使った場合の手数料が示され、上記決済をした際の残高予想が表示される。

【0077】

また、図19と同様に、利用者が登録した口座の情報が示されている。更に、この画面の下方には、振り込みを行うか行わないかを利用者が指示するためのボタンが設けられている。

【0078】

図21は、店舗が請求管理サーバに注文ステータスの照会をした場合に示される注文一覧画面の表示例を示す図である。

図21の画面においては、99年8月5日に3000円の靴の売り上げがあり、まだ入金されていないことが示されている。同様に、99年8月7日には、2000円の帽子の売り上げがあり、これは入金済みであり、99年8月9日には

、 8 0 0 0 円の服の売り上げがあり、これはまだ入金されていないことが示されている。

【 0 0 7 9 】

以上の画面表示例のように、本実施形態においては、利用者及び店舗では、容易に買い物、売り上げの管理ができるという利点がある。

図 2 2 及び図 2 3 は、各テーブルの構成例を示した図である。

【 0 0 8 0 】

図 2 2 ( a ) は、ユーザテーブルであり、ユーザ I D の他に、ユーザ情報として、振り込みに必要な情報（氏名、住所、電話番号など）、ユーザ口座（銀行名、支店名、口座種類、口座番号）が登録される。ユーザ口座の数は、任意である。

【 0 0 8 1 】

図 2 2 ( b ) は、店舗テーブルであり、店舗 I D の他に、店舗情報として振り込みに必要な情報（氏名、住所、電話番号など）、店舗口座（銀行名、支店名、口座種類、口座番号）が登録される。店舗口座の数は、任意である。

【 0 0 8 2 】

図 2 2 ( c ) は、決済手数料テーブルであり、銀行名の他に、同一銀行、同一支店で、振り込み金額帯が所定の範囲にあるときの手数料、同一銀行で振り込み金額帯が所定の範囲にあるときの手数料、提携銀行で振り込み金額帯が所定の範囲にあるときの手数料、他銀行で振り込み金額帯が所定の範囲にあるときの手数料など、様々な場合の手数料が一覧となって登録されている。

【 0 0 8 3 】

図 2 2 ( d ) は、注文テーブルであり、注文番号、ユーザ I D 、店舗 I D 、カテゴリ、商品名、金額、決済期限、削除予告メール日などの注文情報、ユーザ口座（銀行名や支店名など）、店舗口座（銀行名や支店名など）及び、未決済／決済完了のステータスが登録される。

【 0 0 8 4 】

図 2 3 ( a ) は、グループテーブルであり、グループ番号、単一あるいは複数の注文番号、ユーザ口座（銀行名や支店名など）、店舗口座（銀行名や支店名な

ど)、単一あるいは、複数の注文情報(商品名や金額など)からなっている。

【0085】

図23(b)は、広告テーブルであり、広告ID、登録カテゴリ、登録キーワード(関連ワード)などが登録される。

次に、店舗と利用者が同一銀行を使って決済予約サービスを受ける場合の本発明の別の実施形態について説明する。

【0086】

図24及び図25は、本発明の別の実施形態における、後決済の場合のショッピング注文受付処理の流れを示すシーケンス図である。

まず、加盟店は、ホームページなどを使って利用者に商品情報を表示する。利用者は、購入意思がある場合には、この商品情報から注文手続を行う。すると、加盟店は、注文情報を入力するための受付画面が表示する。利用者は、この受付画面に名前、住所、電話番号や支払い方法を入力して注文する。今、支払方法としては、A銀行決済を選択したとする。すると、注文情報は、請求管理サーバに送られる。請求管理サーバでは、注文情報を取得し、注文データベースに仮注文登録を行い、注文番号を発行する。そして、A銀行への入り口画面の表示を行う。

【0087】

利用者が、A銀行への入り口画面において、OKボタンを押すと、A銀行は、A銀行の振り込みサービスを受けるための認証画面を表示する。認証画面においては、利用者は、店番号、口座番号、口座パスワードなどを入力する。これらの情報を受け取ったA銀行は、認証処理を行う。このとき、口座番号と注文番号を請求管理サーバに通知し、注文データベースに本注文登録を行う。すると、請求管理サーバからは、加盟店に向けて、注文受付完了通知が送られる。

【0088】

また、A銀行では、利用者の認証に成功すると、認証通知を行うと共に、振り込み選択画面を表示する。振り込み選択画面では、利用者は振り込み手続を即行するか、後に行うかの選択を行う。今、後決済を選択したとすると、この情報がA銀行に通知され、利用者向け受け付け完了表示がなされる。

## 【 0 0 8 9 】

図 2 6 及び図 2 7 は、別の実施形態における、後決済の場合のショッピング決済処理の流れを示すシーケンス図である。

まず、利用者は、A 銀行が提供するホームページなどのネットワーク画面のトップページを表示させる。そして、ショッピング決済を行うために、A 銀行の会員メニューを選択する。すると、A 銀行は、決済サービスを行うための認証画面を表示する。利用者は、認証画面から、支店番号や、口座番号、パスワードなどの必要事項を入力する。入力された情報は、A 銀行のサーバに送られる。A 銀行では、利用者の認証を行い、認証が成功すれば、利用者に A 銀行の会員メニューを表示する。利用者は、この会員メニューから決済サービスを選択する。

## 【 0 0 9 0 】

すると、A 銀行のサーバは、請求管理サーバに未決済データの取得を依頼する。請求管理サーバでは、注文データベースを参照して、A 銀行のサーバ宛に未決済データを送信する。未決済データを受信した A 銀行のサーバでは、利用者に対し、未決済一覧を表示する。利用者は、未決済一覧から決済するショッピング項目を選択し、振り込みを指示する。すると、A 銀行からは、振り込み画面が送信される。

## 【 0 0 9 1 】

利用者は、振り込み画面においては、決済を行うために、口座番号やパスワードの入力を行う。振り込み画面で利用者が入力した情報を受け取った A 銀行のサーバは、パスワードによる認証を行い、続いて、振り込み処理を行う。振り込み処理が完了すると、A 銀行からは、請求管理サーバに振込完了通知が行われ、請求管理サーバでは、口座番号や注文番号を元に、決済処理を行い、注文データベースを更新する。

## 【 0 0 9 2 】

請求管理サーバは、決済処理が終了すると、加盟店に入金完了メールを電子メールで送付する。また、A 銀行では、利用者に振り込み結果画面を表示し、処理を終了する。

## 【 0 0 9 3 】

図 2 8 ～ 図 3 0 は、別の実施形態におけるショッピング即時決済の場合の処理の流れを示すシーケンス図である。

まず、加盟店は、ホームページなどで商品情報を利用者に提供する。利用者は、この画面を見て商品の注文を出す。加盟店では、利用者からの注文の申し込みに対し、注文の受付画面を表示する。利用者は、必要事項を入力した上で、A 銀行決済を選択したとする。すると、注文情報が請求管理サーバに転送される。請求管理サーバでは、注文情報を取得すると、これを仮注文として注文データベースに登録し、注文番号を発行する。そして、利用者に、A 銀行のサービスへの入り口画面を表示する。

【 0 0 9 4 】

利用者が A 銀行の入り口画面において、OK ボタンを押すと、A 銀行のサーバからは、認証画面が表示される。利用者は、表示された認証画面に、必要な情報を入力し、A 銀行のサーバに転送する。A 銀行のサーバでは、受信した情報に基づいて認証処理を行い、請求管理サーバに口座番号や注文番号を送信する。請求管理サーバでは、認証結果を受けて、注文データベースに当該注文を本注文として受け付け、加盟店に向けて、注文受付完了通知を行う。

【 0 0 9 5 】

一方、A 銀行のサーバでは、利用者に振り込み選択画面を提示する。利用者は、この画面で、即時決済を選択したとする。すると、A 銀行では、口座番号と注文番号を請求管理サーバに通知し、注文情報の要求をする。請求管理サーバでは、注文情報の要求を受けると、注文データベースを参照して、注文情報を A 銀行のサーバに送信する。すると、A 銀行のサーバは、利用者に対し、振り込み画面を提示する。利用者は、振り込み画面において、必要事項を入力して、A 銀行のサーバに送信する。

【 0 0 9 6 】

A 銀行のサーバでは、利用者が入力したパスワードを用いて振り込みサービスを提供するための利用者の認証を行い、振り込み処理を行う。振り込み処理が完了すると、A 銀行のサーバから請求管理サーバへ振り込み完了通知がなされる。請求管理サーバでは、振り込み完了通知を受け取ると、決済処理を行い、注文デ

ータベースを更新し、加盟店に入金完了メールを電子メールで送信する。また、A銀行のサーバでは、利用者に対し、振り込み結果画面を提示して処理を終了する。

#### 【 0 0 9 7 】

図 3 1 は、別の実施形態における注文受付処理を示すフローチャートである。

まず、ステップ S 1 8 0 において、利用者から注文情報の入力と、決済予約選択の入力が行われる。次に、ステップ S 1 8 1 において、店舗 ID、注文情報の取得が行われ、注文番号が作成される。次に、S 1 8 2 において、銀行のサーバからログイン画面が利用者に提示される。そして、利用者が入力したユーザ口座、ユーザ ID、パスワードのチェックが、ステップ S 1 8 3 において、行われる。ログインに失敗した場合には、ステップ S 1 8 4 において、ログインの拒否が行われる。ログインが成功すると、ステップ S 1 8 5 において、請求管理サーバは、ユーザの口座番号の取得を行い、ステップ S 1 8 6 において、注文データベースにユーザの口座番号が入力される。

#### 【 0 0 9 8 】

そして、ステップ S 1 8 7 において、請求管理サーバは、店舗に注文受付メールを電子メールで送信し、ステップ S 1 8 8 において、銀行のサーバは、利用者に注文受付画面を提示する。そして、注文受付画面において、利用者が決済選択を行う。ステップ S 1 8 9 では、即時決済か否かが判断され、即時決済が利用者によって選択された場合には、ステップ S 1 9 0 において、即時決済処理へ進む。ステップ S 1 8 9 において、利用者が後決済を選択した場合には、ステップ S 1 9 1 において、受付完了表示を行って処理を終了する。

#### 【 0 0 9 9 】

図 3 2 は、別の実施形態における未決済一覧の表示処理を示すフローチャートである。

まず、利用者から入力される、ユーザ口座番号、ユーザ ID、パスワードの認証が行われる（ステップ S 2 0 0）。認証が失敗した場合には、ステップ S 2 0 1 において、ログインを拒否する。認証が成功した場合には、ステップ S 2 0 2 において、利用者が未決済一覧の表示を選択する。すると、ステップ S 2 0 3 に



において、請求管理サーバは、注文データベースからユーザ口座に該当する未決済注文を書き出し、ステップ S 2 0 4 において、他に該当する未決済注文があるか否かを判断する。まだ、未決済注文がある場合には、ステップ S 2 0 3 に戻って、未決済注文の書き出しを行う。

#### 【 0 1 0 0 】

ステップ S 2 0 4 において、他に該当する未決済注文がないと判断された場合には、ステップ S 2 0 5 に進み、銀行画面で、未決済注文の画面表示が行われる。そして、利用者は、この未決済注文画面において、決済する注文を選択し（ステップ S 2 0 6）、ステップ S 2 0 7 において、確認画面を表示し、ステップ S 2 0 8 において、決済要求を利用者に入力させる。

#### 【 0 1 0 1 】

ステップ S 2 0 8 において、決済要求が入力された場合には、図 3 3 の処理に進む。

図 3 3 は、別の実施形態における振り込み処理を示すフローチャートである。

#### 【 0 1 0 2 】

まず、ステップ S 2 1 0 において、利用者が銀行の画面で決済要求を行うと、ステップ S 2 1 1 において、振り込み認証処理が行われる。認証が成功すると、ステップ S 2 1 2 において、振り込み処理が行われる。振り込み処理が失敗するとステップ S 2 1 7 で、エラー表示を行って、ステップ S 2 1 8 に進む。振り込み処理が成功すると、ステップ S 2 1 3 に進んで、請求管理サーバが決済完了情報を銀行のサーバから取得し、ステップ S 2 1 4 において、該当注文のフラグ（未決済、決済済みを示すフラグ）を未決済から決済済みに設定する。そして、ステップ S 2 1 5 において、店舗へ入金完了メールを電子メールで送信する。また、ステップ S 2 1 6 において、利用者の銀行画面に振り込み結果を画面表示する。そして、ステップ S 2 1 8 において、他に決済要求があるか否かを判断し、まだ、他の決済要求がある場合には、ステップ S 2 1 9 において、次の注文の呼び出しを行い、ステップ S 2 1 2 に戻る。ステップ S 2 1 8 において、他に決済要求がないと判断された場合には、処理を終了する。

#### 【 0 1 0 3 】

なお、図 1 4 ～ 図 1 8 のフローは、上記別の実施形態に同じく適用可能であるが、処理が同様であるので、説明は省略する。

図 3 4 は、上記各実施形態における請求管理サーバ、あるいは、口座取扱機関（銀行）のサーバに要求される一般的ハードウェア構成を説明する図である。

【 0 1 0 4 】

CPU 3 1 は、バス 3 0 を介して RAM 3 2、ROM 3 3、通信インターフェース 3 4、記憶装置 3 7、記録媒体読み取り装置 3 8、及び入出力装置 4 0 に接続される。ROM 3 3 には、BIOS などの基本プログラムが格納され、システム 4 1 の基本的機能を動作可能とする。あるいは、システム 4 1 の動作を後に変更する可能性がないので有れば、本発明の実施形態の処理を実現するプログラムを ROM 3 7 に格納し、CPU 3 1 に実行させても良い。

【 0 1 0 5 】

一般には、本発明の実施形態の処理を実現するプログラムは、ハードディスクなどの記憶装置 3 7 に格納され、CPU 3 1 が、記憶装置 3 7 から当該プログラムを RAM 3 2 に展開し、実行する。また、記憶装置 3 7 への当該プログラムのコピーは、可搬記録媒体 3 9 に当該プログラムを格納しておき、記録媒体読み取り装置 3 8 から CPU 3 1 に読み込ませ、記憶装置 3 7 に格納させることによって行う。可搬記録媒体 3 9 は、CD-ROM やフロッピーディスク、DVD などである。これに対応して、記録媒体読み取り装置 3 8 は、CD-ROM ドライブやフロッピーディスクドライブ、DVD ドライブなどである。

【 0 1 0 6 】

入出力装置 4 0 は、ディスプレイ、キーボード、マウスなどからなっており、システム 4 1 をサーバとして使用する場合、オペレータが必要な設定を入力したり、システムの動作状況を監視したりするために使用される。

【 0 1 0 7 】

また、通信インターフェース 3 4 は、ネットワーク 3 5 を介して情報提供者 3 6 と通信を行い、本発明の実施形態を実現するのに必要なデータや、プログラムを情報提供者 3 6 から記憶装置 3 7 にダウンロードするのに使用可能である。また、請求管理サーバや、口座取扱機関のサーバを複数のシステム 4 1 で構成する

ために、LANなどのネットワーク35を用いて、これらのシステム41を接続し、ネットワーク環境の下に、当該プログラムを実行することも可能である。

【0108】

なお、この発明は、上記一実施形態に限定されるものではなく、発明の要旨を変更しない範囲で種々変形可能である。

例えば、上記一実施形態では、オンラインのショッピングを例にとって説明したが、これに限定されるものではない。例えば、電話や水道料金等の公共料金の支払いのようなオフライン取引の決済にも適用可能である。この場合、請求管理サーバ23は、電話会社や水道会社等からオンラインで請求データを受け取るように構成されていることが好ましい。

【0109】

そして、この場合、利用者には一切請求書が送付されないように構成されていることが望ましい。ただし、この場合には、利用者はいつ請求があったか分からないので、新たに請求が発生した場合には、当該利用者にメールで通知するか、又はログイン後の画面で通知するように構成されていることが好ましい。

【0110】

また、上記一実施形態では、複数のショッピングに係る決済をグループ化して同時に行なえるようになっている。この場合、例えばグループ化されたショッピング内容のうち、1件でも残高不足になるような場合には、グループ化された全てのショッピング内容の決済をキャンセルして再決済できるように構成されていることが好ましい。

【0111】

【発明の効果】

本発明によれば、ネットワーク上でオンラインショッピングの他、公共料金を口座から支払う場合のようなオフラインの取引に適用でき、その場で振り込み処理を行わず、一旦「決済予約」という形で振り込みすべき案件を蓄積しておき、後に振り込み処理を行うことを可能にする決済システムが提供される。また、複数の口座取り扱い機関にまたがる案件を処理することも可能となる。

【0112】

したがって、利用者は、振り込むべき複数の注文を1カ所に保存蓄積でき、振り込み予定の注文を一覧で確認でき、従来要した振り込み処理にともなう作業を簡略化できる。

【0113】

また、店舗は、銀行振込による注文の消し込み作業を省略でき、銀行振込による注文の売り上げ管理が容易になり、銀行振込は決済即入金 of 支払いなので、資金回収の早期化を実現できる。

【0114】

口座取扱機関では、請求管理サーバに、店舗に対する消し込み作業サービスを代行させ、振り込むべき注文を利用者に提示させることで、口座取扱機関を使った振り込み件数（振り込み手数料）の確保につながり、利用者や加盟店に対してEC（e-commerce）や公共料金のネットワーク決済サービスを提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施形態 of 処理 of 概念を説明する図である。

【図2】

複数の口座取扱機関を利用する場合 of 本発明 of 実施形態における処理 of 流れを示すシーケンス図（その1）である。

【図3】

複数の口座取扱機関を利用する場合 of 本発明 of 実施形態における処理 of 流れを示すシーケンス図（その2）である。

【図4】

複数の口座取扱機関を利用する場合 of 本発明 of 実施形態における処理 of 流れを示すシーケンス図（その3）である。

【図5】

複数の口座取扱機関を利用する場合 of 本発明 of 実施形態における処理 of 流れを示すシーケンス図（その4）である。

【図6】

複数の口座取扱機関を利用する場合 of 本発明 of 実施形態における処理 of 流れを

示すシーケンス図（その 5）である。

【図 7】

複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における処理の流れを示すシーケンス図（その 6）である。

【図 8】

複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における処理の流れを示すシーケンス図（その 7）である。

【図 9】

実施形態の注文受付処理のフローチャートである。

【図 1 0】

未決済一覧の表示処理を示すフローチャートである。

【図 1 1】

振り込み元口座の選択から振り込み処理までの処理を示すフローチャート（その 1）である。

【図 1 2】

振り込み元口座の選択から振り込み処理までの処理を示すフローチャート（その 2）である。

【図 1 3】

利用者に利用口座リコメンドを行うための処理を示すフローチャートである。

【図 1 4】

決済注文のグループ化を行うための処理を示すフローチャート（その 1）である。

【図 1 5】

同一振り込み元／先の決済注文のグループ化を行うための処理を示すフローチャート（その 2）である。

【図 1 6】

決済期日が過ぎた注文を削除する場合に店舗とユーザに予告メッセージを送信する処理のフローチャートである。

【図 1 7】

未決済一覧画面上に関連広告を掲載するための処理のフローチャートである。

【図 1 8】

店舗が請求管理サーバに注文ステータスを問い合わせてきたときの処理を示すフローチャートである。

【図 1 9】

未決済一覧画面の未決済処理選択画面の一表示例を示す図である。

【図 2 0】

未決済一覧画面の注文／口座設定処理画面の一表示例を示す図である。

【図 2 1】

店舗が請求管理サーバに注文ステータスの照会をした場合に示される注文一覧画面の表示例を示す図である。

【図 2 2】

各テーブルの構成例を示した図（その 1）である。

【図 2 3】

各テーブルの構成例を示した図（その 2）である。

【図 2 4】

本発明の別の実施形態における、後決済の場合のショッピング注文受付処理の流れを示すシーケンス図（その 1）である。

【図 2 5】

本発明の別の実施形態における、後決済の場合のショッピング注文受付処理の流れを示すシーケンス図（その 2）である。

【図 2 6】

別の実施形態における、後決済の場合のショッピング決済処理の流れを示すシーケンス図（その 1）である。

【図 2 7】

別の実施形態における、後決済の場合のショッピング決済処理の流れを示すシーケンス図（その 2）である。

【図 2 8】

別の実施形態におけるショッピング即時決済の場合の処理の流れを示すシーケ

ンス図（その 1）である。

【図 2 9】

別の実施形態におけるショッピング即時決済の場合の処理の流れを示すシーケンス図（その 2）である。

【図 3 0】

別の実施形態におけるショッピング即時決済の場合の処理の流れを示すシーケンス図（その 3）である。

【図 3 1】

別の実施形態における注文受付処理を示すフローチャートである。

【図 3 2】

別の実施形態における未決済一覧の表示処理を示すフローチャートである。

【図 3 3】

別の実施形態における振り込み処理を示すフローチャートである。

【図 3 4】

各実施形態における請求管理サーバ、あるいは、口座取扱機関（銀行）のサーバに要求される一般的ハードウェア構成を説明する図である。

【図 3 5】

代金の支払いをインターネットを介して銀行振込で行う場合の従来の処理方法を説明する図である。

【符号の説明】

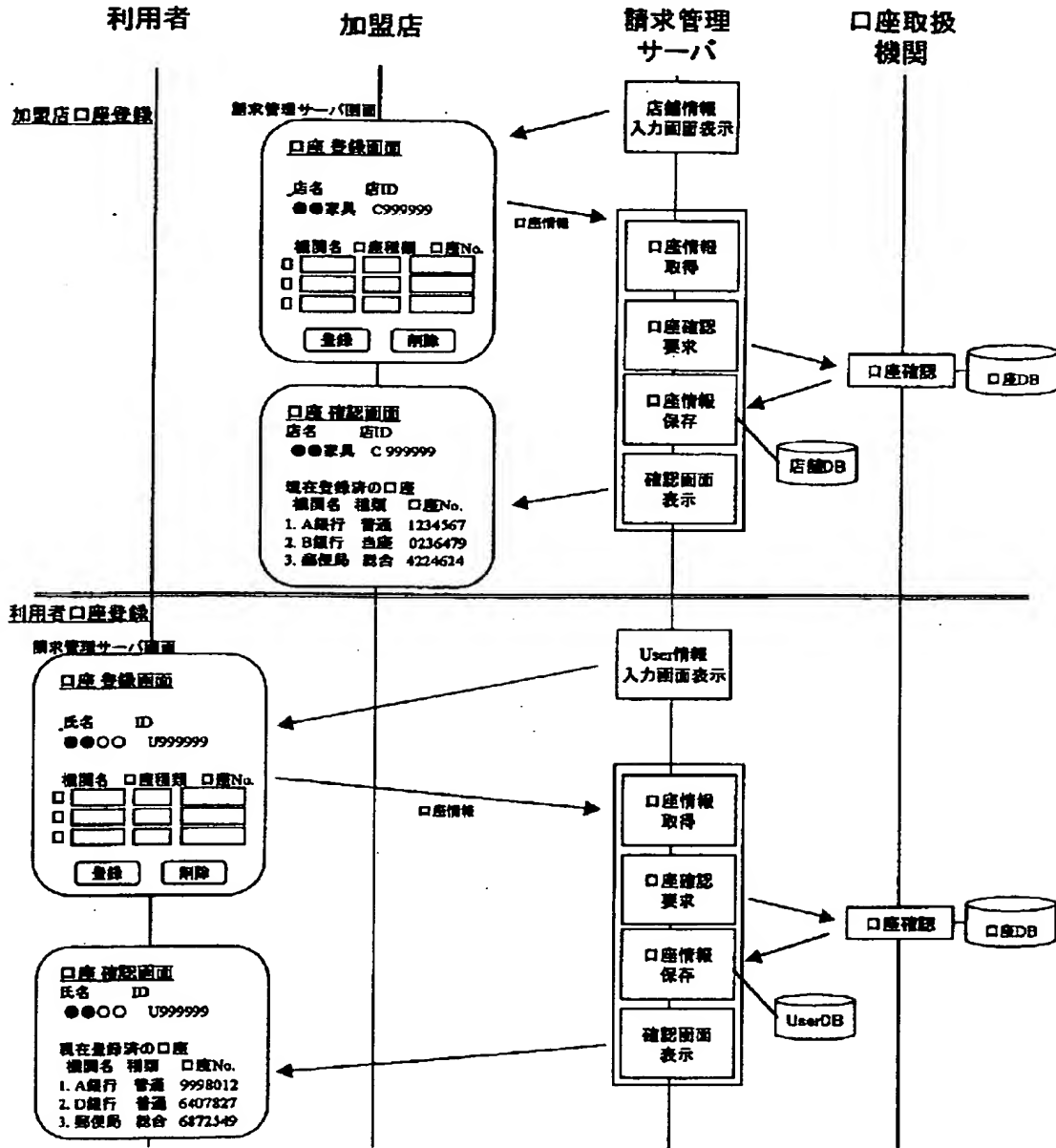
2 0	利用者
2 1	店舗
2 2	口座取扱機関
2 3	請求管理サーバ
2 4	インターネット





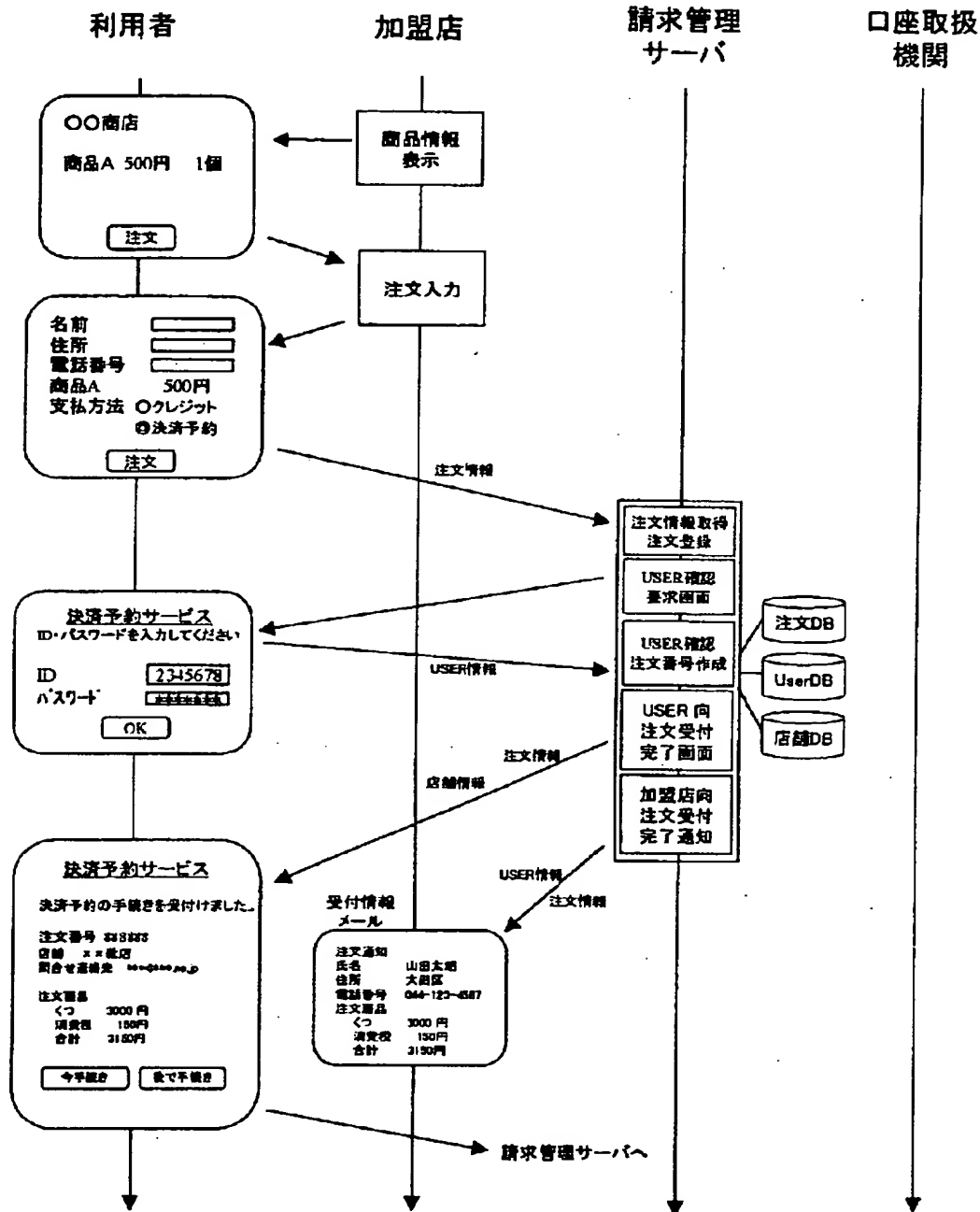
【図2】

複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における  
処理の流れを示すシーケンス図(その1)



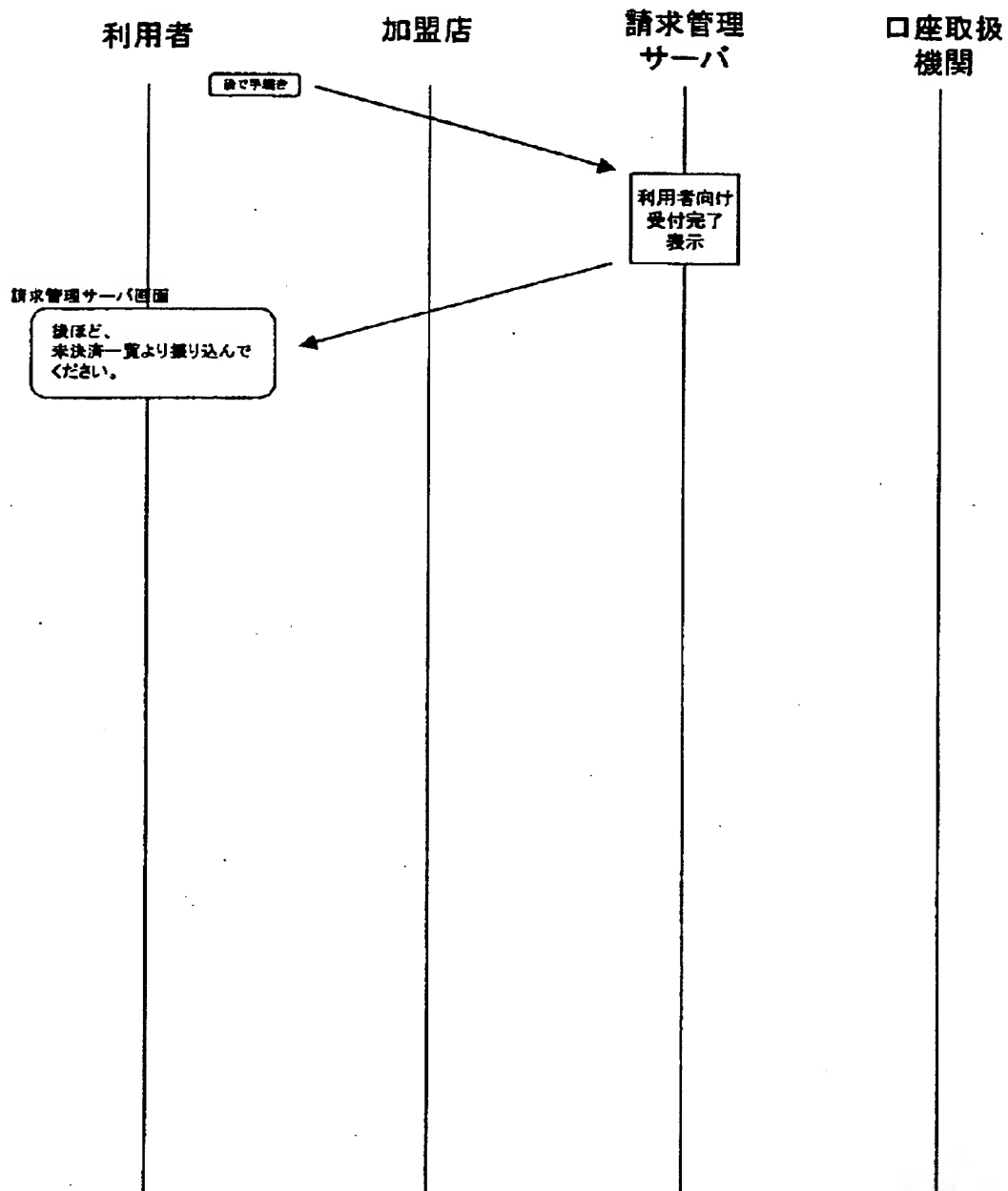
【図 3】

複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における  
処理の流れを示すシーケンス図（その2）



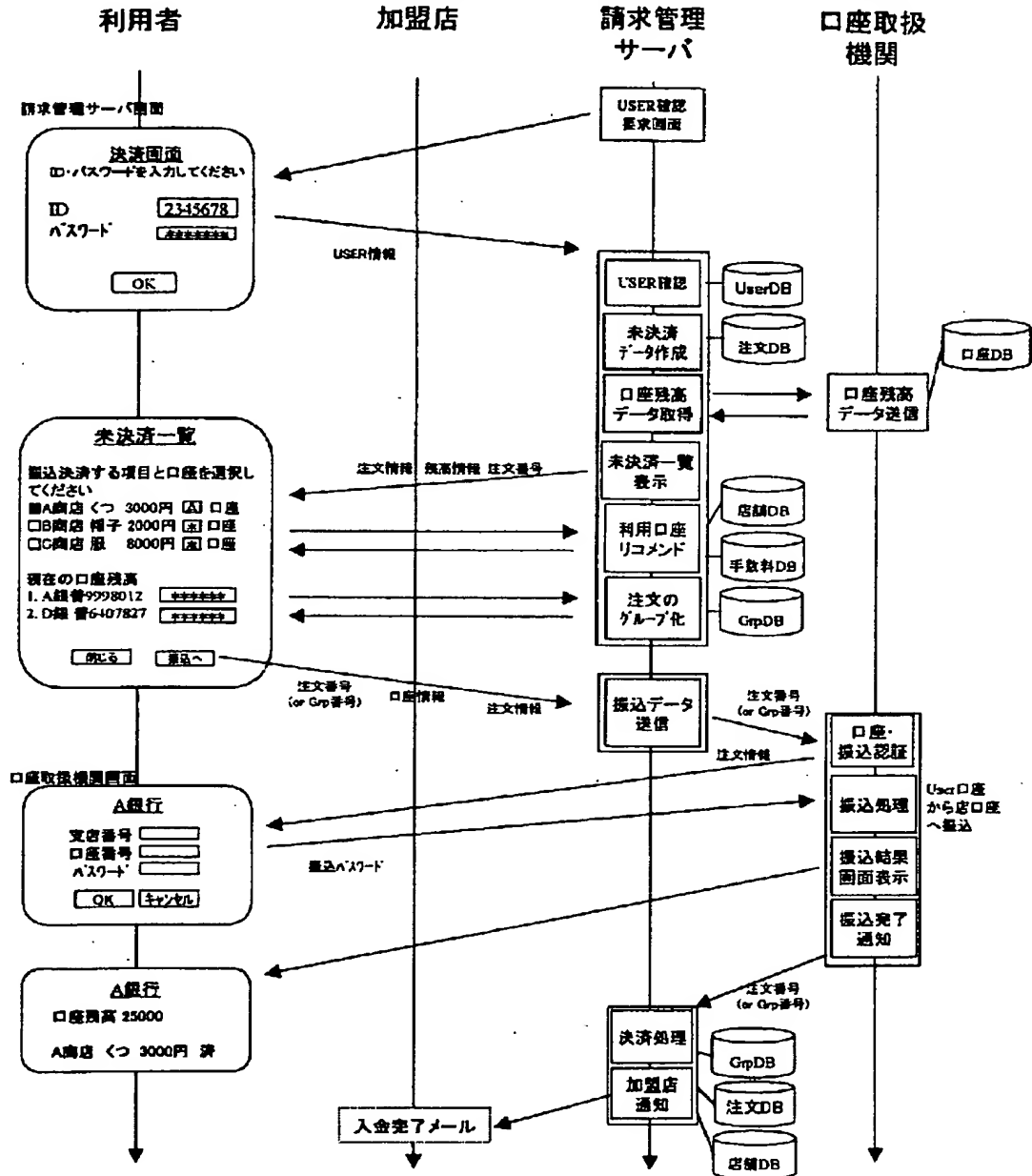
【図 4】

複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における  
処理の流れを示すシーケンス図(その3)



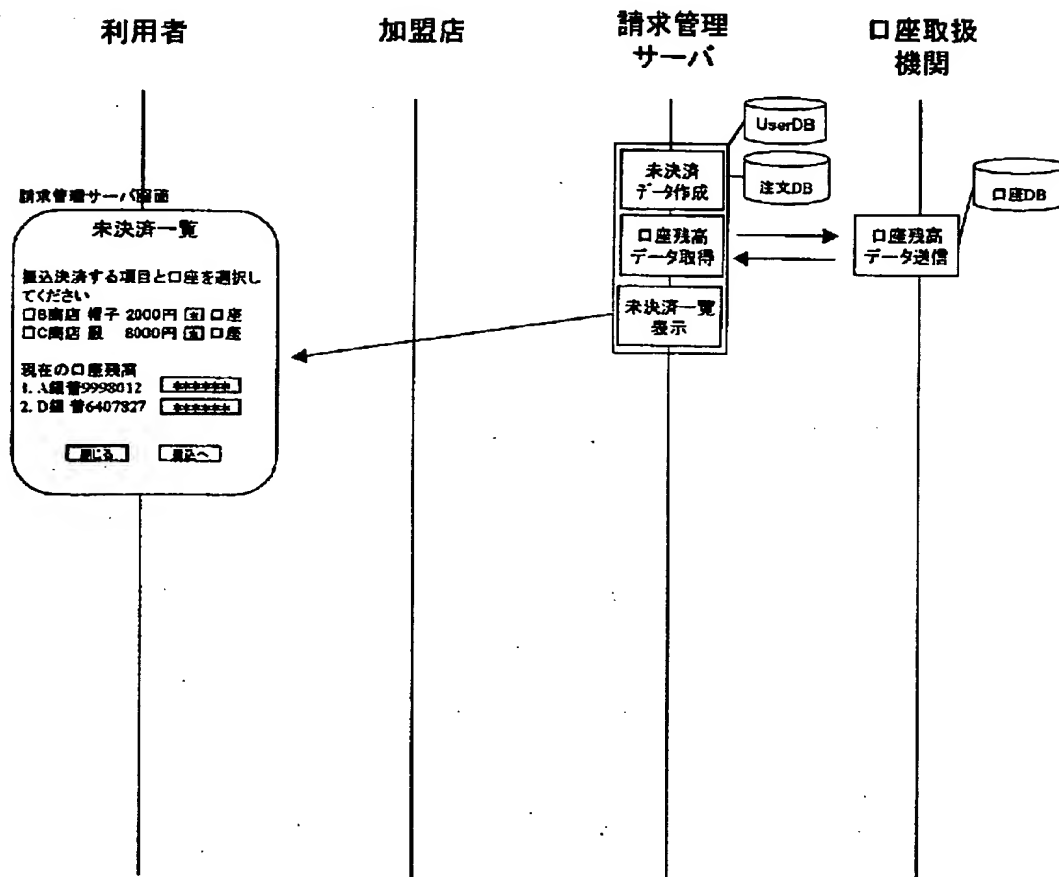
【図 5】

複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における  
処理の流れを示すシーケンス図(その4)



【図 6】

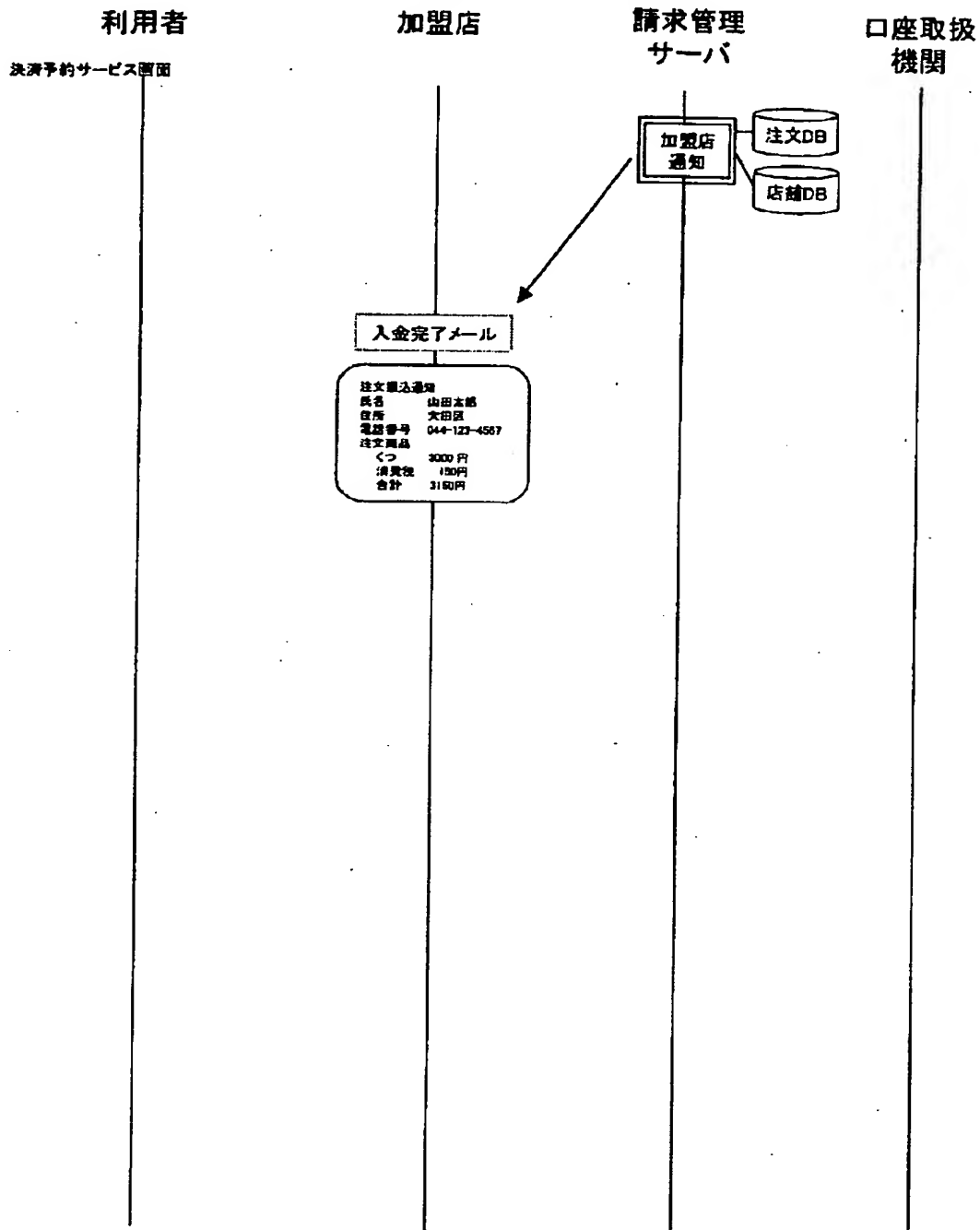
複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における  
処理の流れを示すシーケンス図（その5）





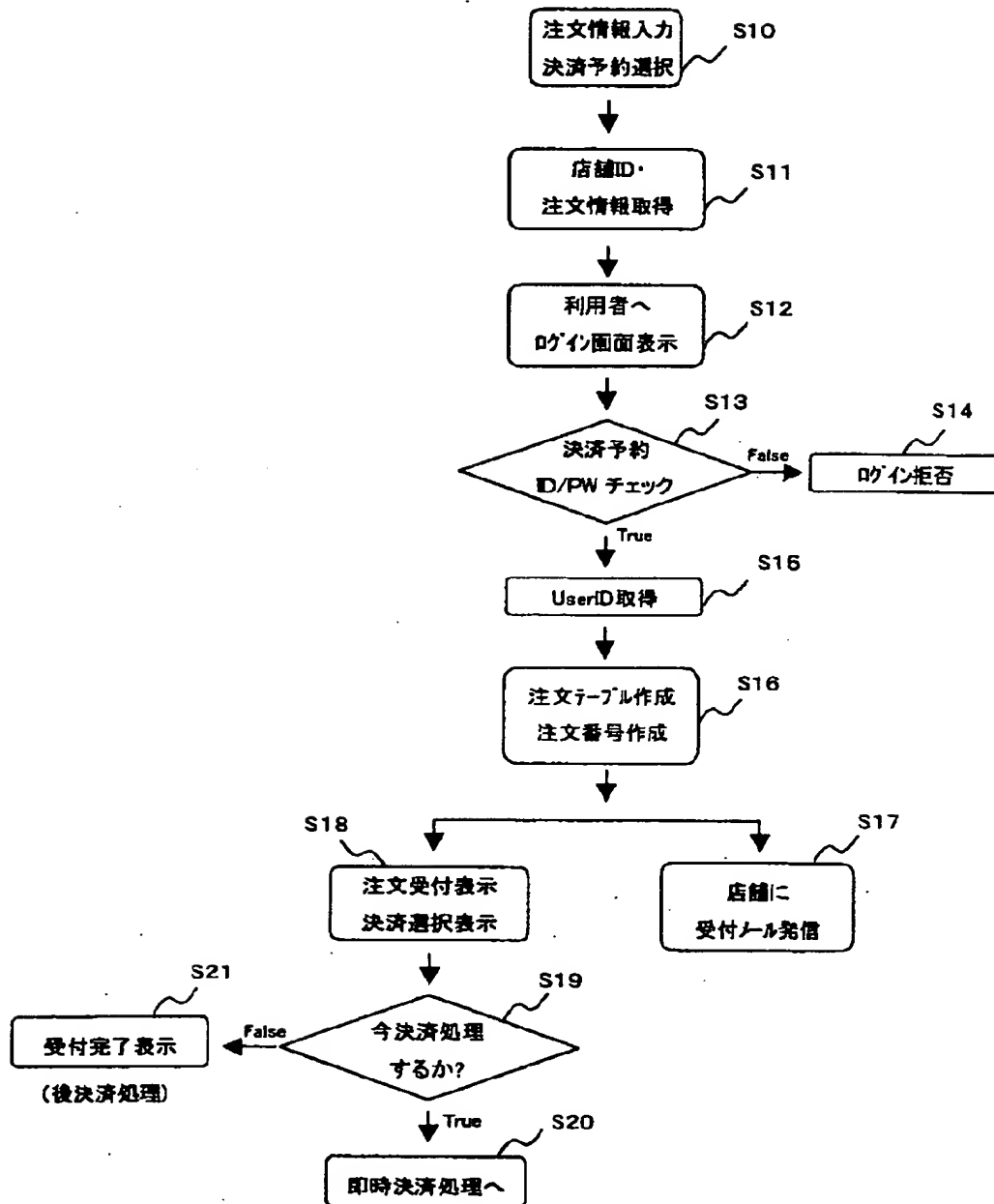
【図 8】

複数の口座取扱機関を利用する場合の本発明の実施形態における  
処理の流れを示すシーケンス図(その7)



【図9】

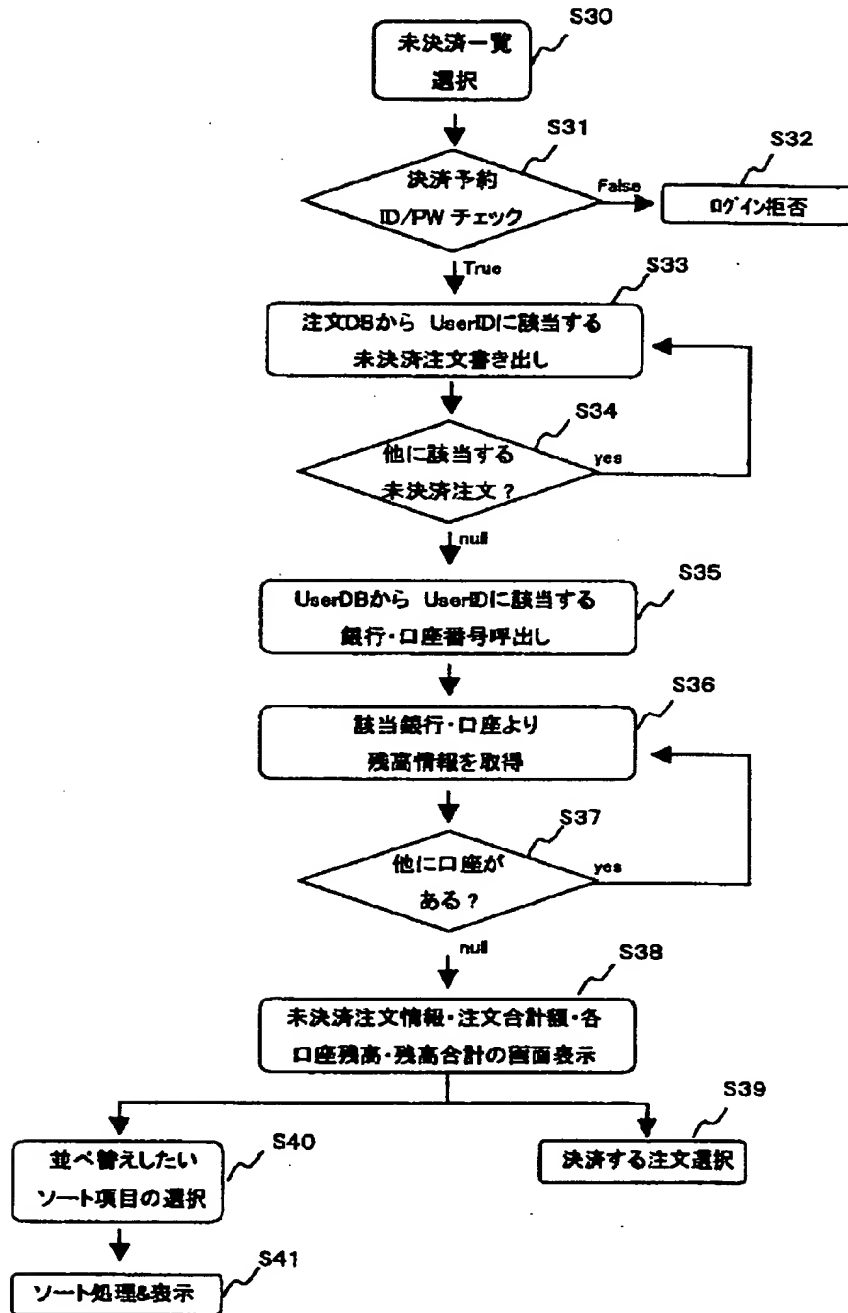
実施形態の注文受付処理のフローチャート





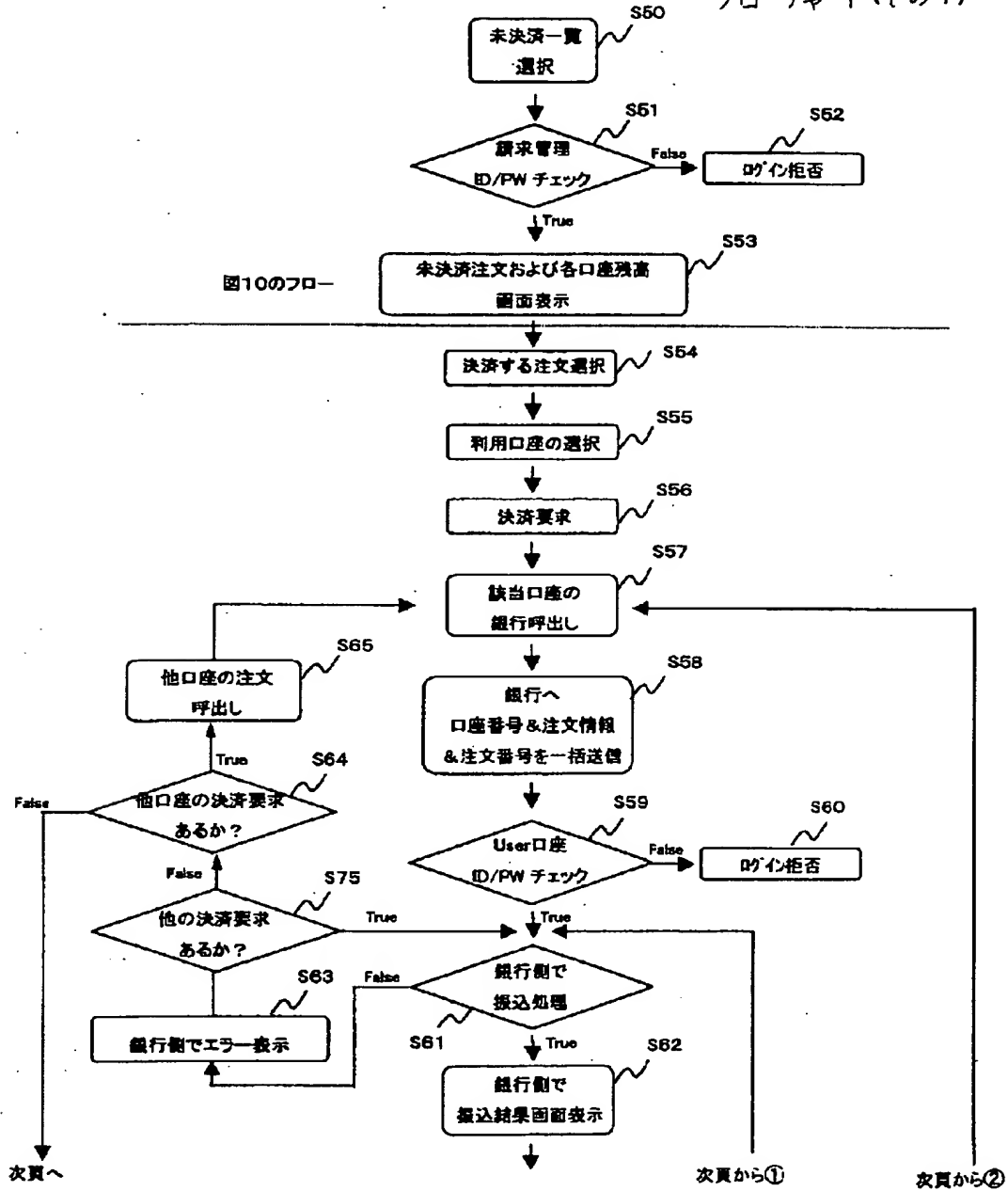
【図 10】

未決済一覧の表示処理を示すフローチャート



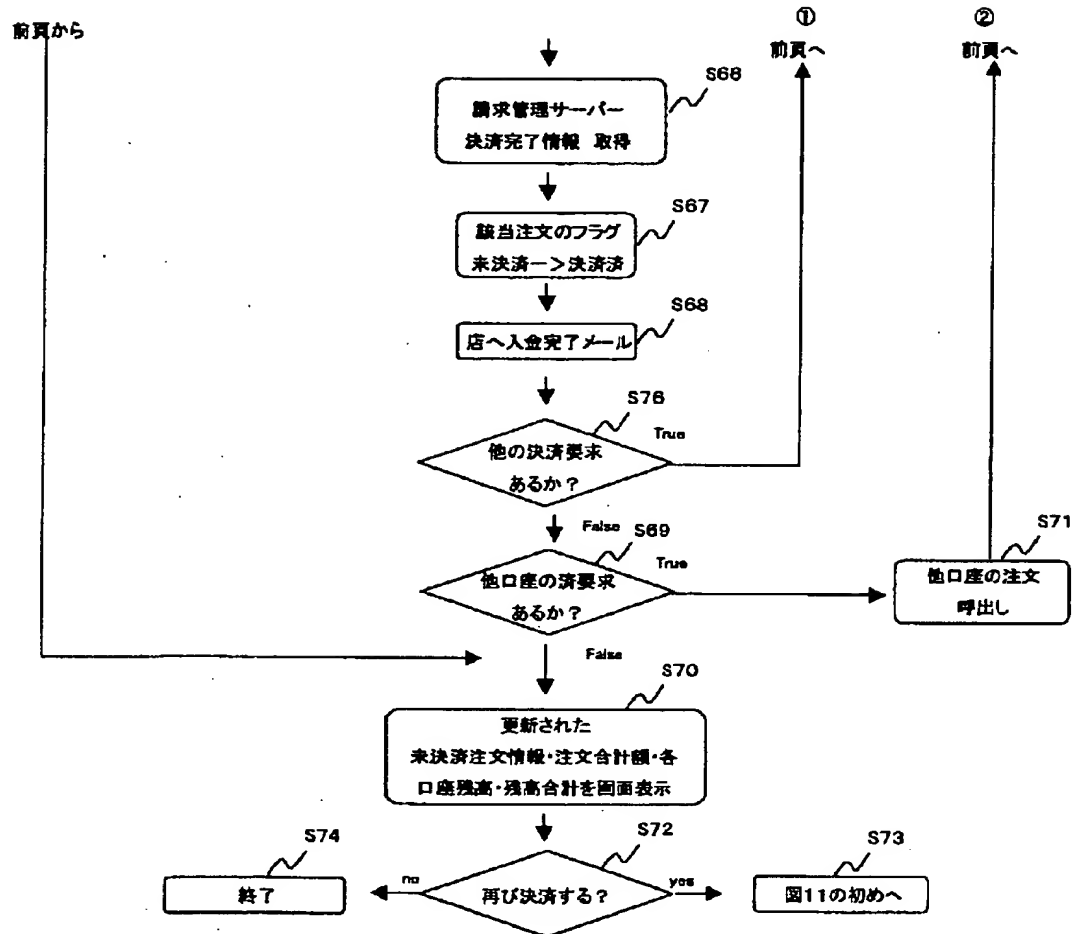
【図 11】

振り込み元口座の選択から振り込み処理までの処理を示す  
フローチャート(その1)



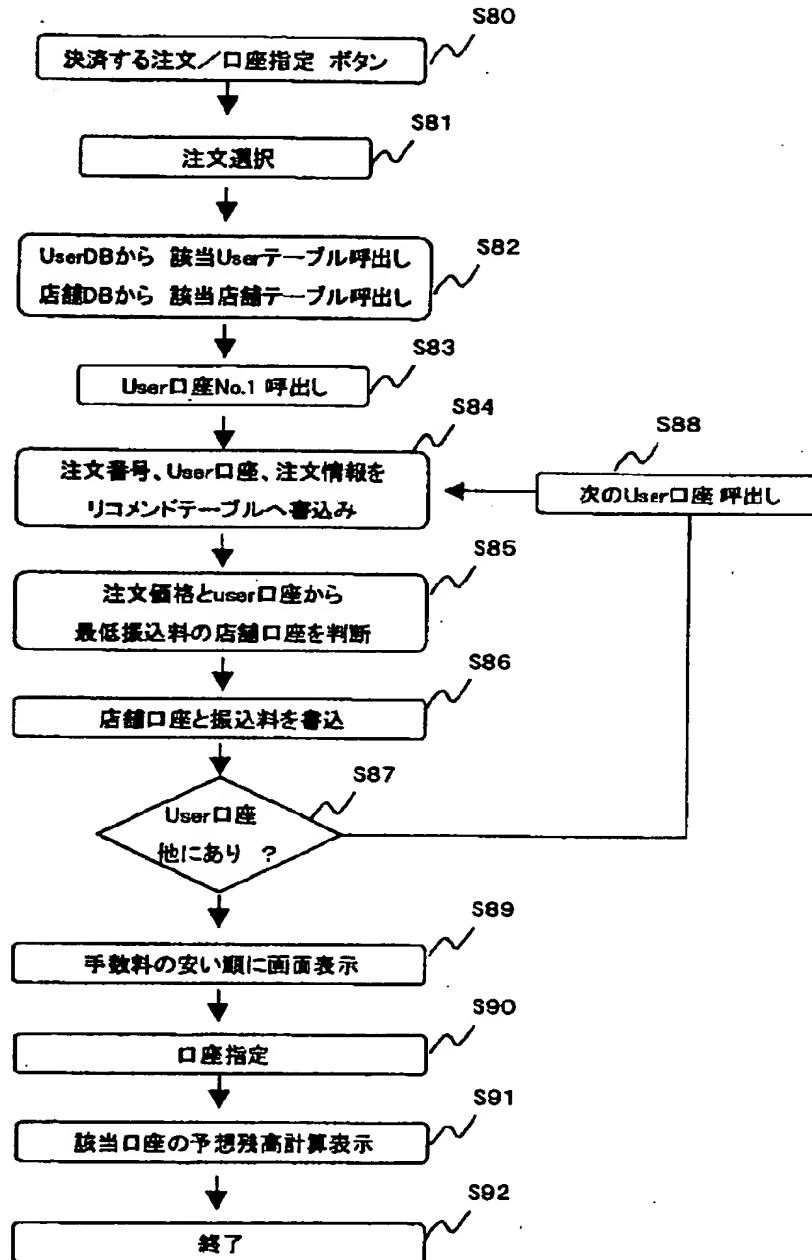
【図12】

振り込み元口座の選択から振り込み処理までの  
処理を示すフローチャート(その2)



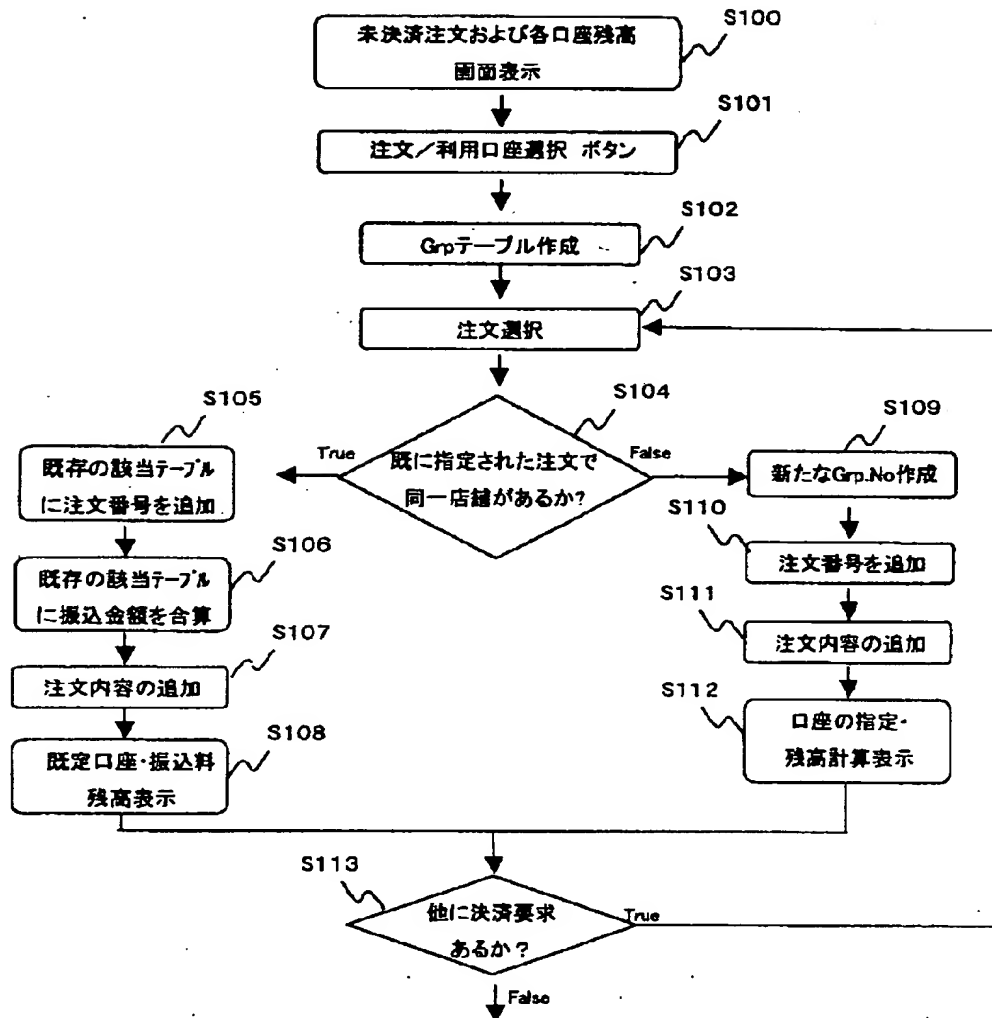
【図13】

利用者に利用口座リコメンドを  
行うための処理を示すフローチャート



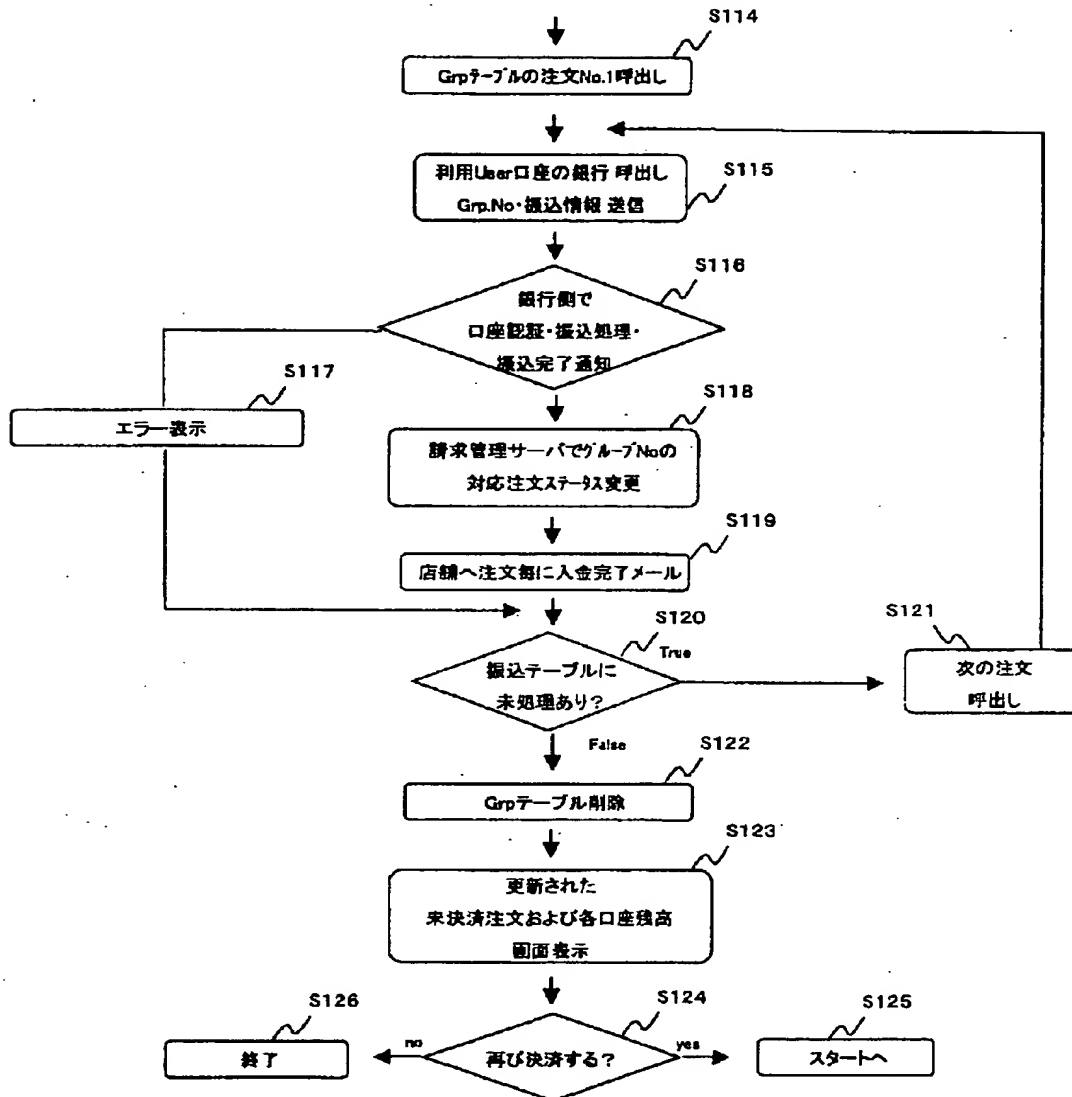
【図14】

決済注文のグループ化を行うための  
処理を示すフローチャート（その1）



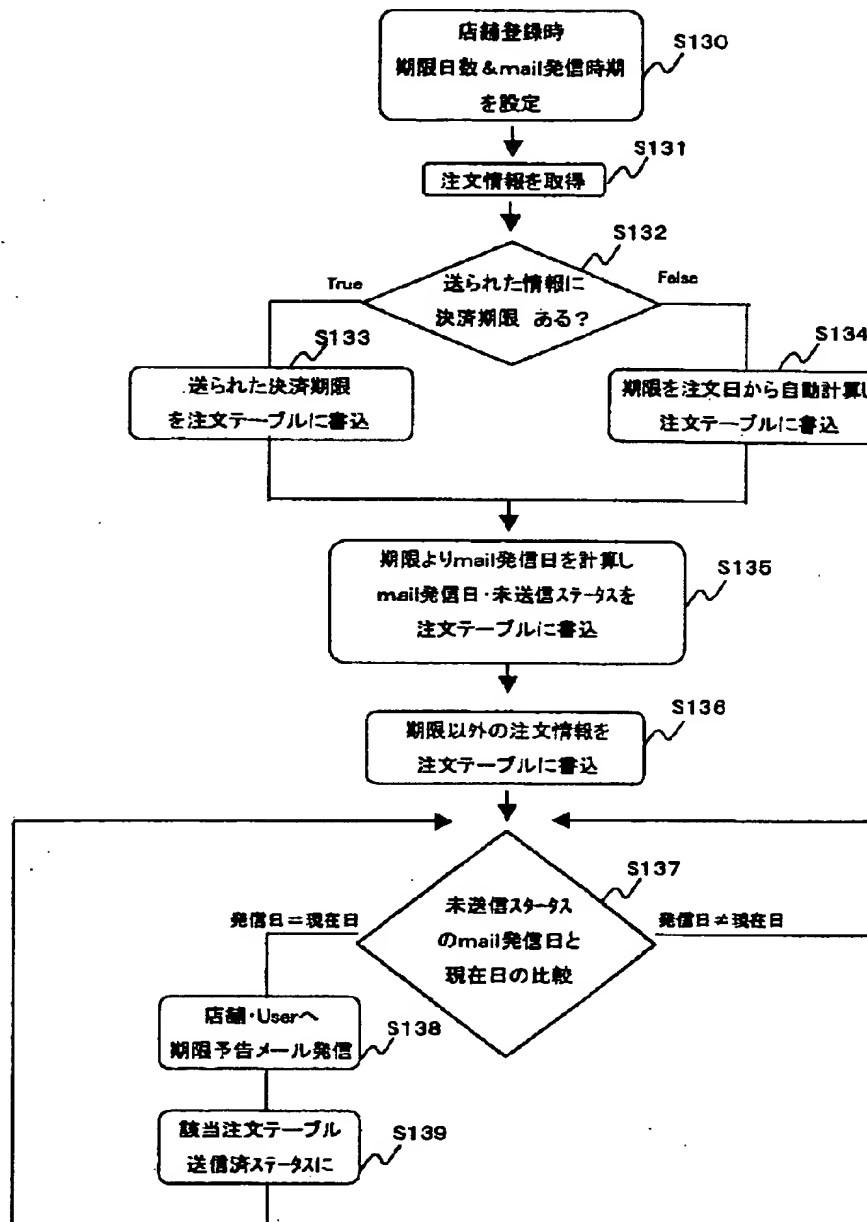
【図15】

決済注文のグループ化を行うための  
処理を示すフローチャート(その2)



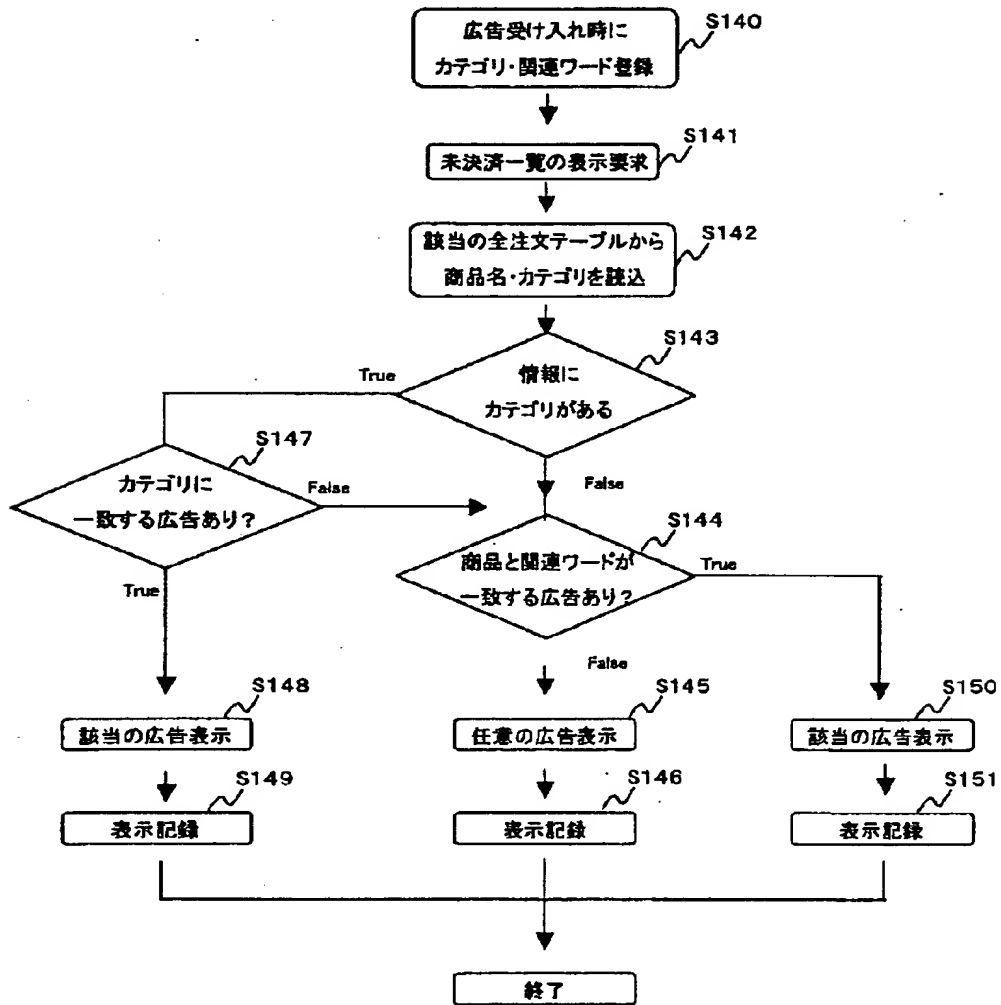
【図16】

決済期日が過ぎた注文を削除する場合に  
店舗とユーザに予告メッセージを送信する処理の  
フローチャート



【図 17】

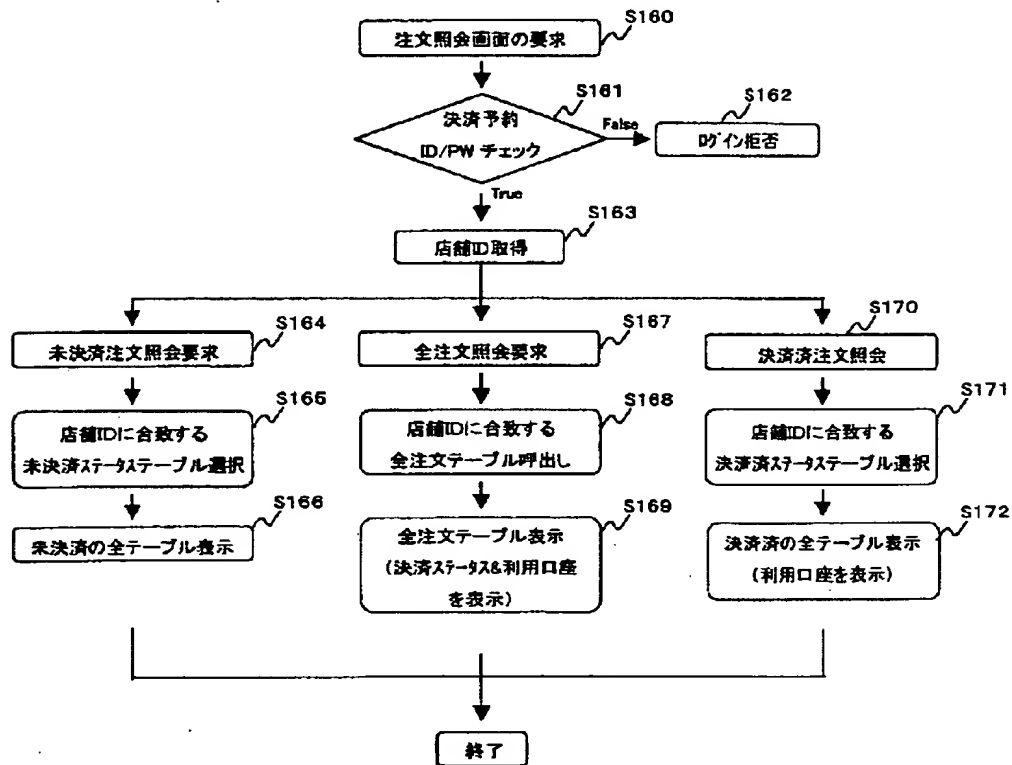
未決済一覧画面上に関連広告を掲載するための  
処理のフローチャート





【図 18】

店舗が請求管理サーバに注文ステータスを  
問い合わせてきたときの処理を示すフローチャート



【図19】

未決済一覧画面の未決済処理選択画面の  
一表示例を示す図

**未決済一覧**

決済すべき注文は以下の項目です。

01	A商店 くつ	3,150円
02	B商店 帽子	2,100円
03	C商店 家具	8,400円
合計		136,650円

スクロールではなく、  
全件数を画面表示する。

現在の登録口座の各残高は以下の通りです。

<input type="checkbox"/>	A銀行 普	1111111	358,900円
<input type="checkbox"/>	B銀行 普	2222222	132,651円
合計			491,551円

☒ 振込しない

☐ 注文／使用口座の指定

【図 20】

未決済一覧画面の注文／口座設定処理画面の  
一表示例を示す図

**未決済一覧**

決済すべき注文と銀行を選択してください。

スクロールではなく、  
全件数を画面表示する。

<input checked="" type="checkbox"/>	A商店 くつ	3,150円	A銀行	0	▼円
<input checked="" type="checkbox"/>	B商店 帽子	2,100円	B銀行	105	▼円
<input type="checkbox"/>	C商店 家具	8,400円	A銀行	300	

合計

5,250円

105円

現在の登録口座の各残高は以下の通りです。

<input type="checkbox"/>	A銀行 普	1111111	355,750円
<input type="checkbox"/>	B銀行 普	2222222	130,446円

合計

486,196円

☒

振込しない

☐

振込む

【図21】

店舗が請求管理サーバに注文ステータスの  
照会をした場合に示される注文一覧画面の  
表示例を示す図

### 注文一覧

<input type="checkbox"/>	99/8/5 くつ	3000円	未決済
<input checked="" type="checkbox"/>	99/8/7 帽子	2000円	入金済
<input type="checkbox"/>	99/8/9 服	8000円	未決済

詳細へ

戻る

【図 22】

各テーブルの構成例を示した図 (その1)

●User テーブル

<ul style="list-style-type: none"> <li>・User ID</li> <li>・User 情報(振込に必要な情報-氏名、住所、電話番号など)</li> <li>・User口座 1 (銀行名、支店名、口座種類、口座番号)</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・User口座 t</li> </ul>	(a)
---	-----

●店舗テーブル

<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗 ID</li> <li>・店舗情報(振込に必要な情報-氏名、住所、電話番号など)</li> <li>・店舗口座 1 (銀行名、支店名、口座種類、口座番号)</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・店舗口座 t</li> </ul>	(b)
--	-----

●決済手数料テーブル

<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行名</li> <li>・手数料(同一銀行、同一支店、振込金額帯)</li> <li>・手数料(同一銀行、振込金額帯)</li> <li>・手数料(提携銀行、振込金額帯)</li> <li>・手数料(他銀行、振込金額帯)</li> <li>・.....etc</li> </ul>	(c)
---	-----

●注文テーブル

<ul style="list-style-type: none"> <li>・注文番号</li> <li>・User ID</li> <li>・店舗 ID</li> <li>・注文情報(カテゴリ、商品名、金額、決済期限、削除予告メール日、など)</li> <li>・User 口座(銀行名、支店名 含む)</li> <li>・店舗 口座(銀行名、支店名 含む)</li> <li>・ステータス(未決済/決済完了)</li> </ul>	(d)
--	-----

【図 23】

各テーブルの構成例を示した図 (その2)

●Grpテーブル

- ・Grp番号
- ・注文番号(複数可)
- ・User 口座(銀行名、支店名)
- ・店舗 口座(銀行名、支店名)
- ・注文情報(商品名、金額、など - 複数可)

(a)

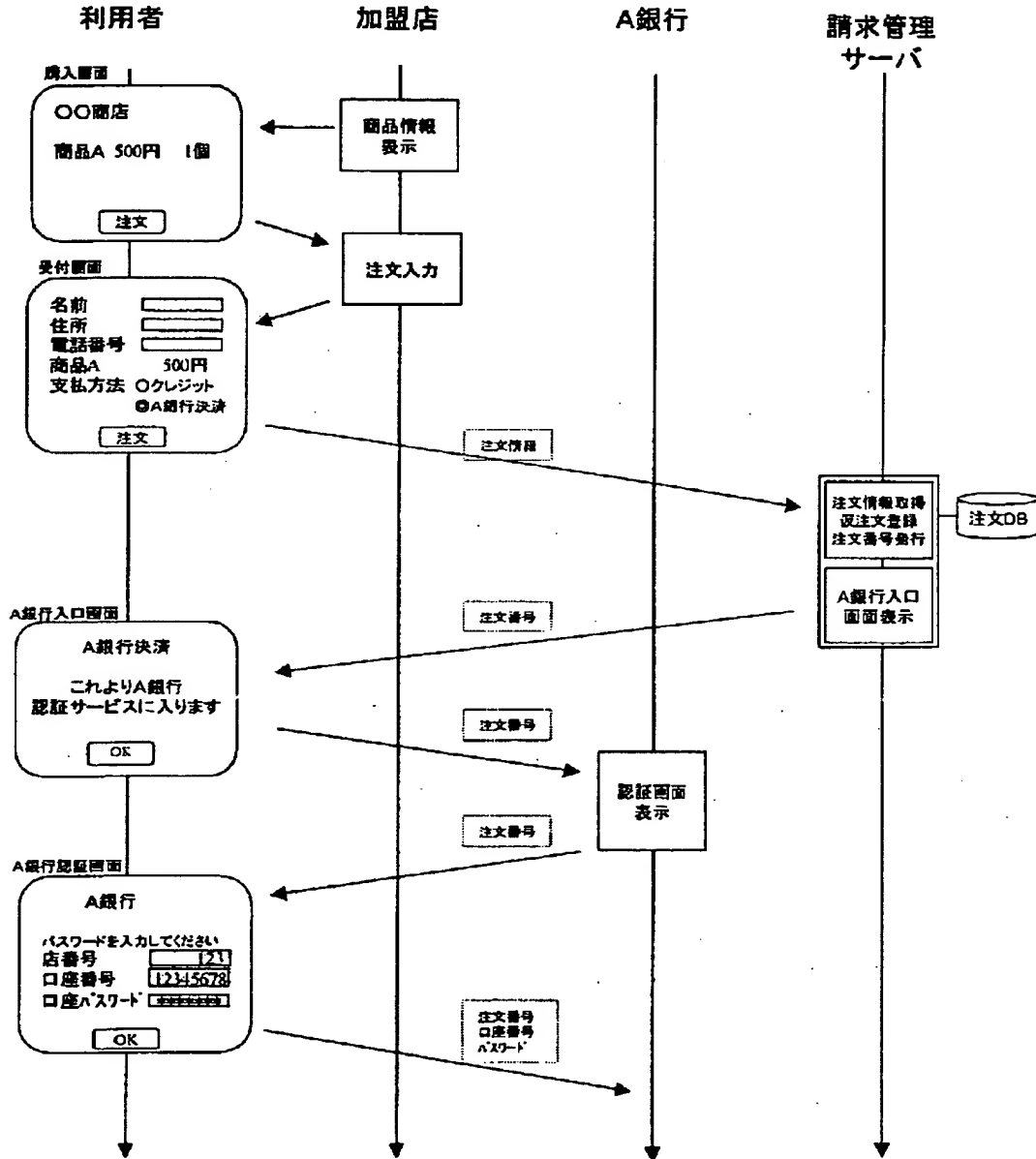
●広告テーブル

- ・広告ID
- ・登録カテゴリ
- ・登録キーワード

(b)

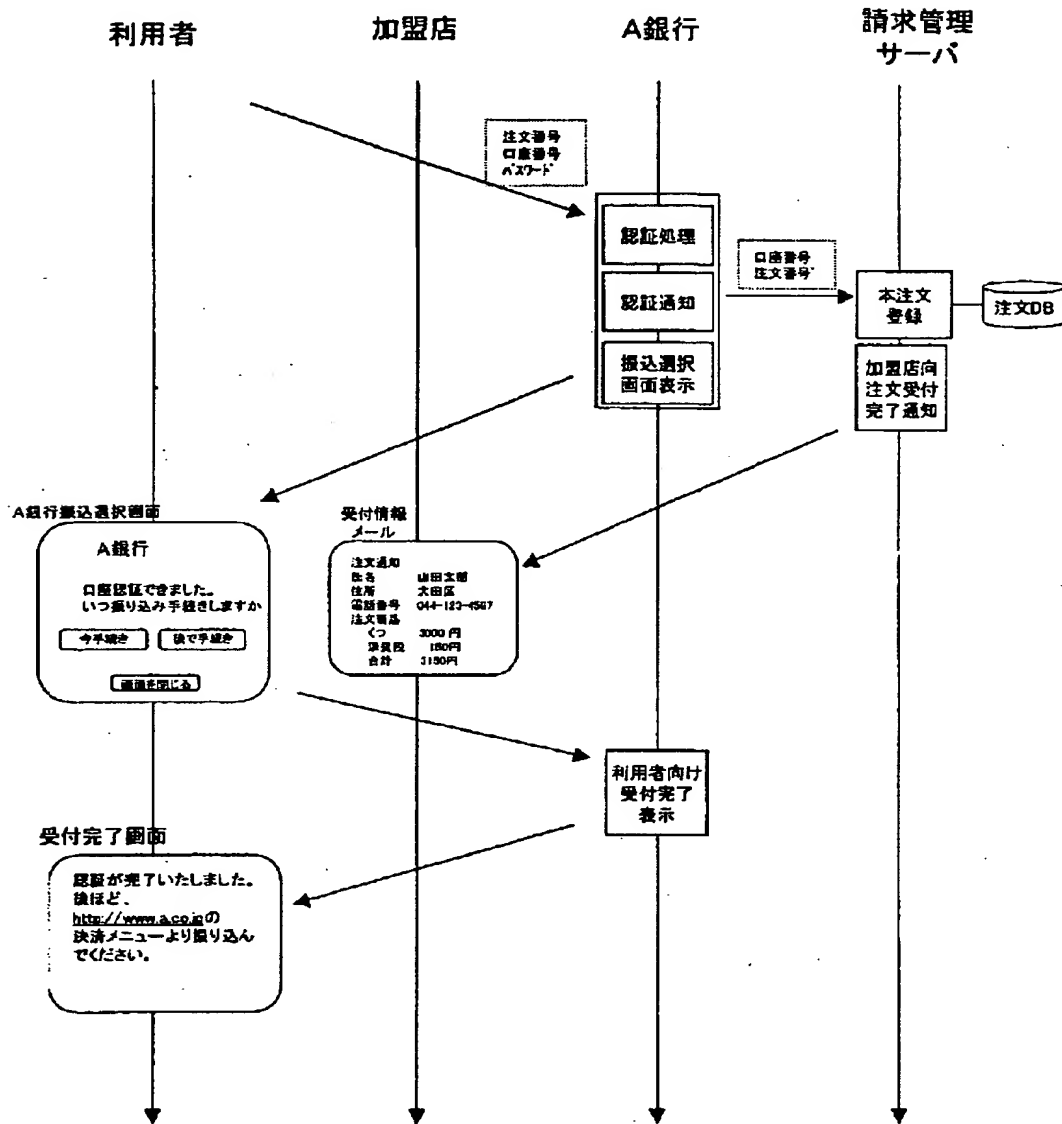
【图 24】

本発明の別の実施形態における後決済の場合の  
ショッピング注文受付処理の流れを示すシーケンス図（その1）



【図 25】

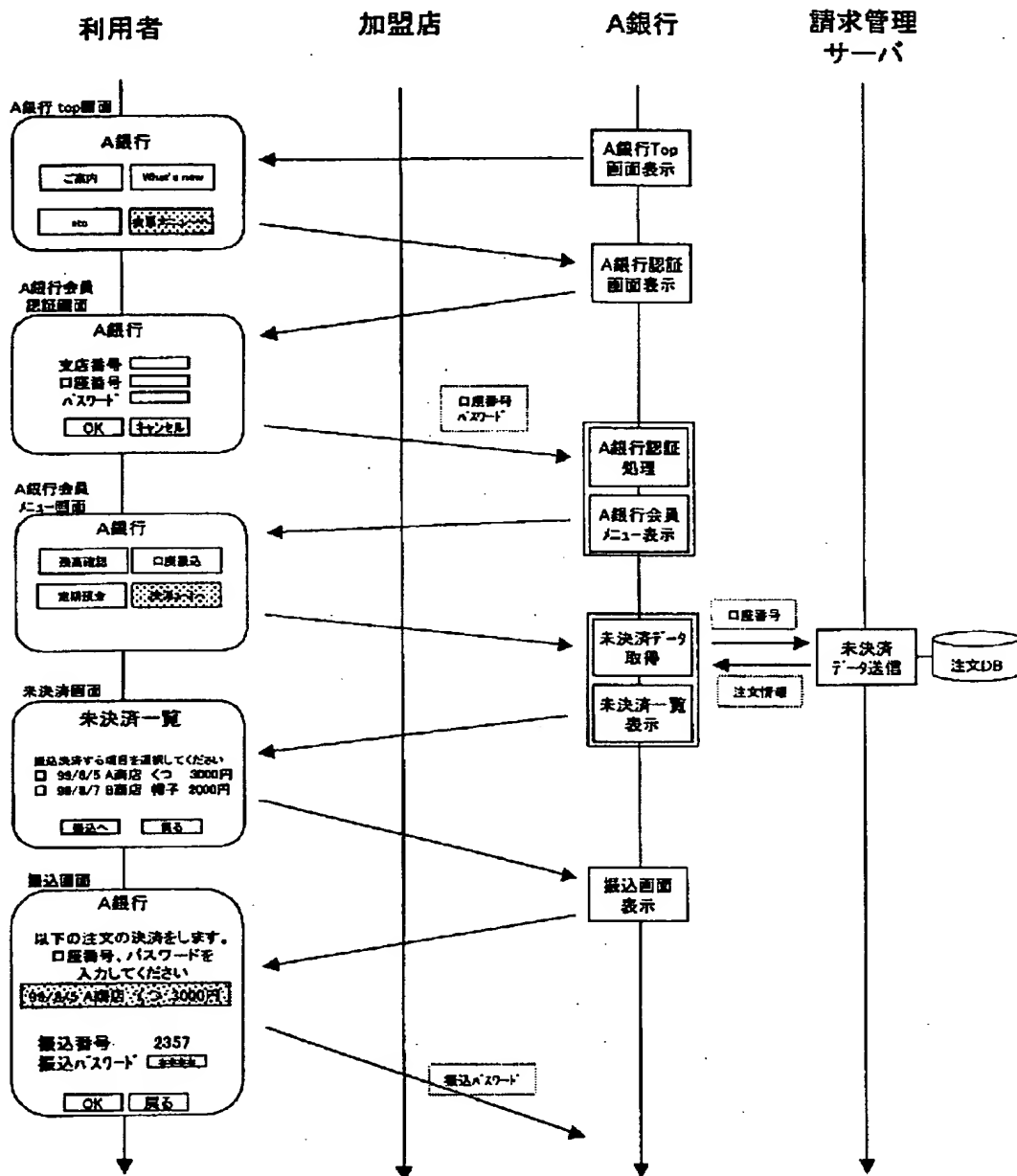
本発明の別の実施形態における後決済の場合の  
ショッピング注文受付処理の流れを示すシーケンス図(その2)





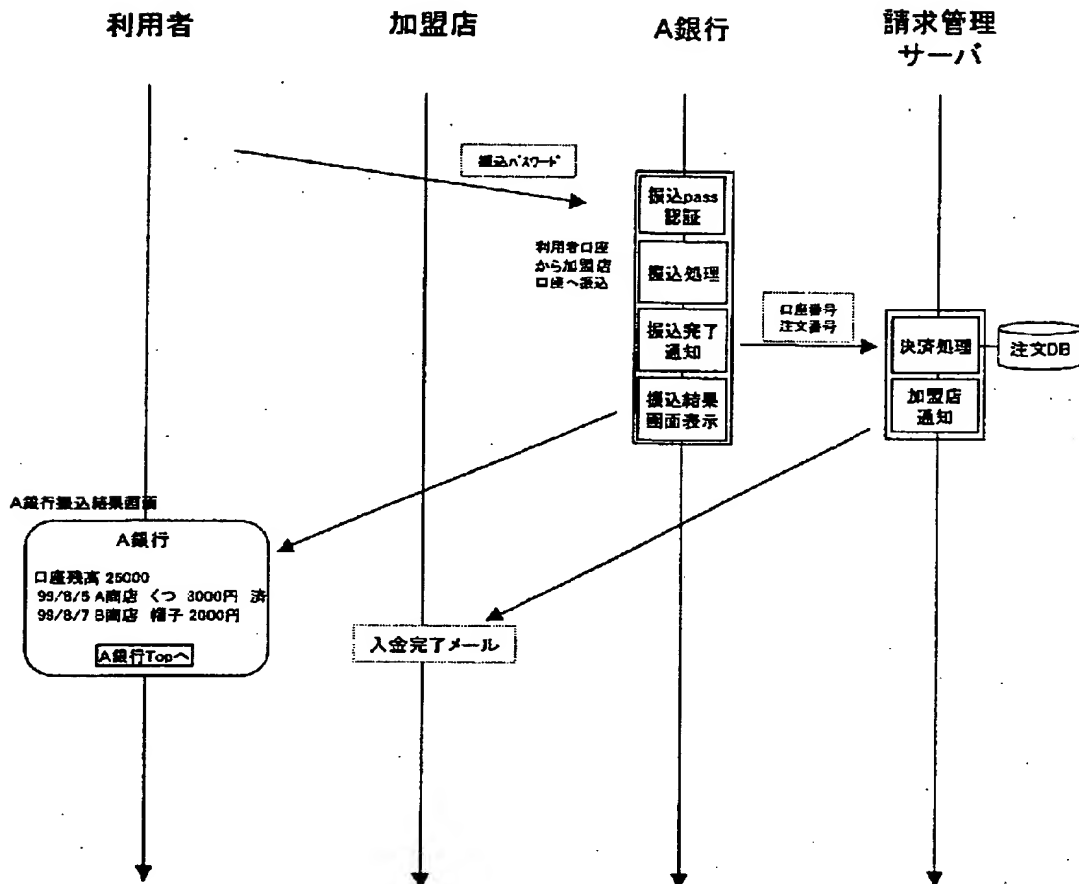
【図26】

別の実施形態における後決済の場合の  
ショッピング決済処理の流れを示すシーケンス図(その1)



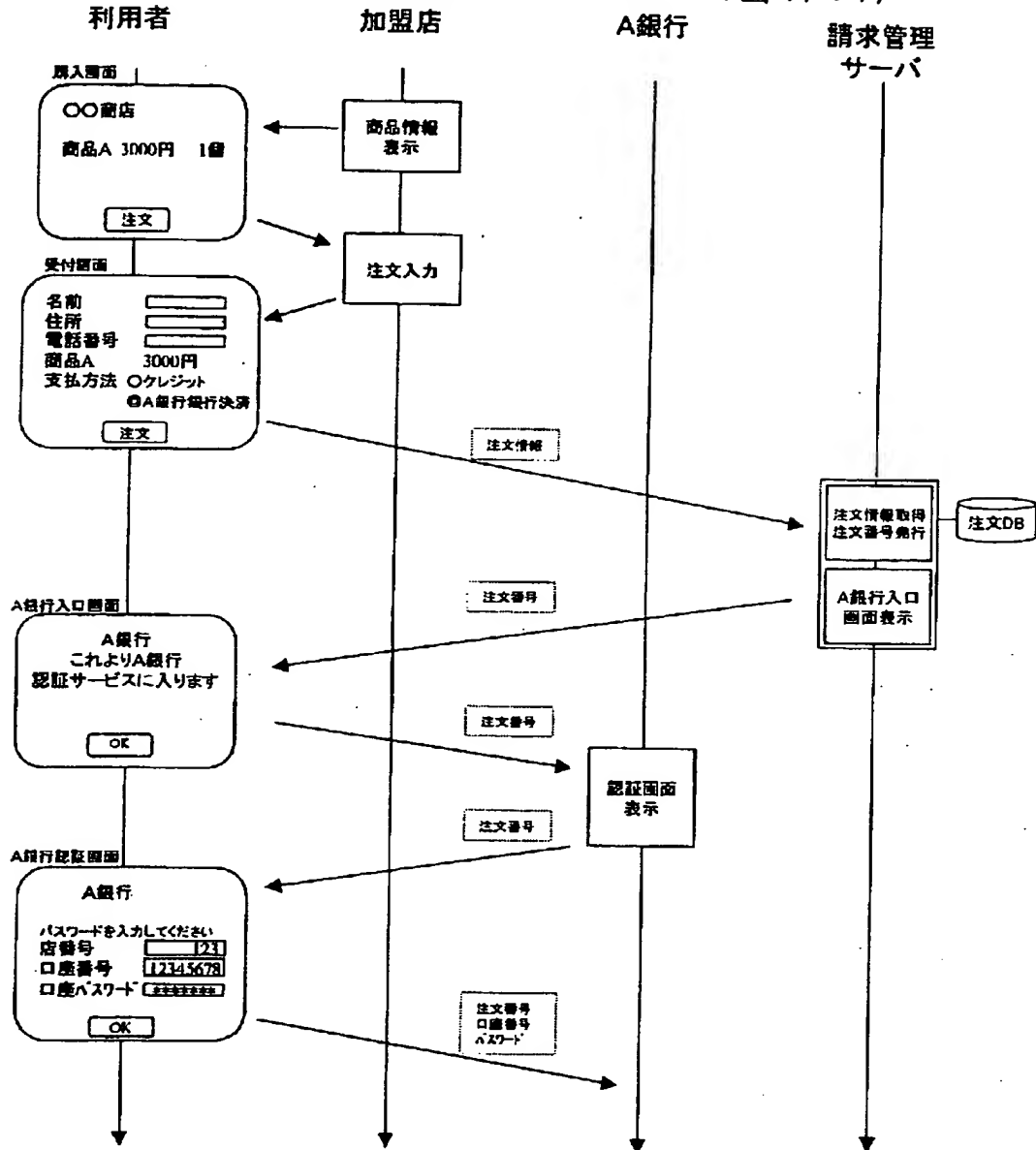
【図 27】

別の実施形態における、後決済の場合の  
ショッピング決済処理の流れを示すシーケンス図 (その2)



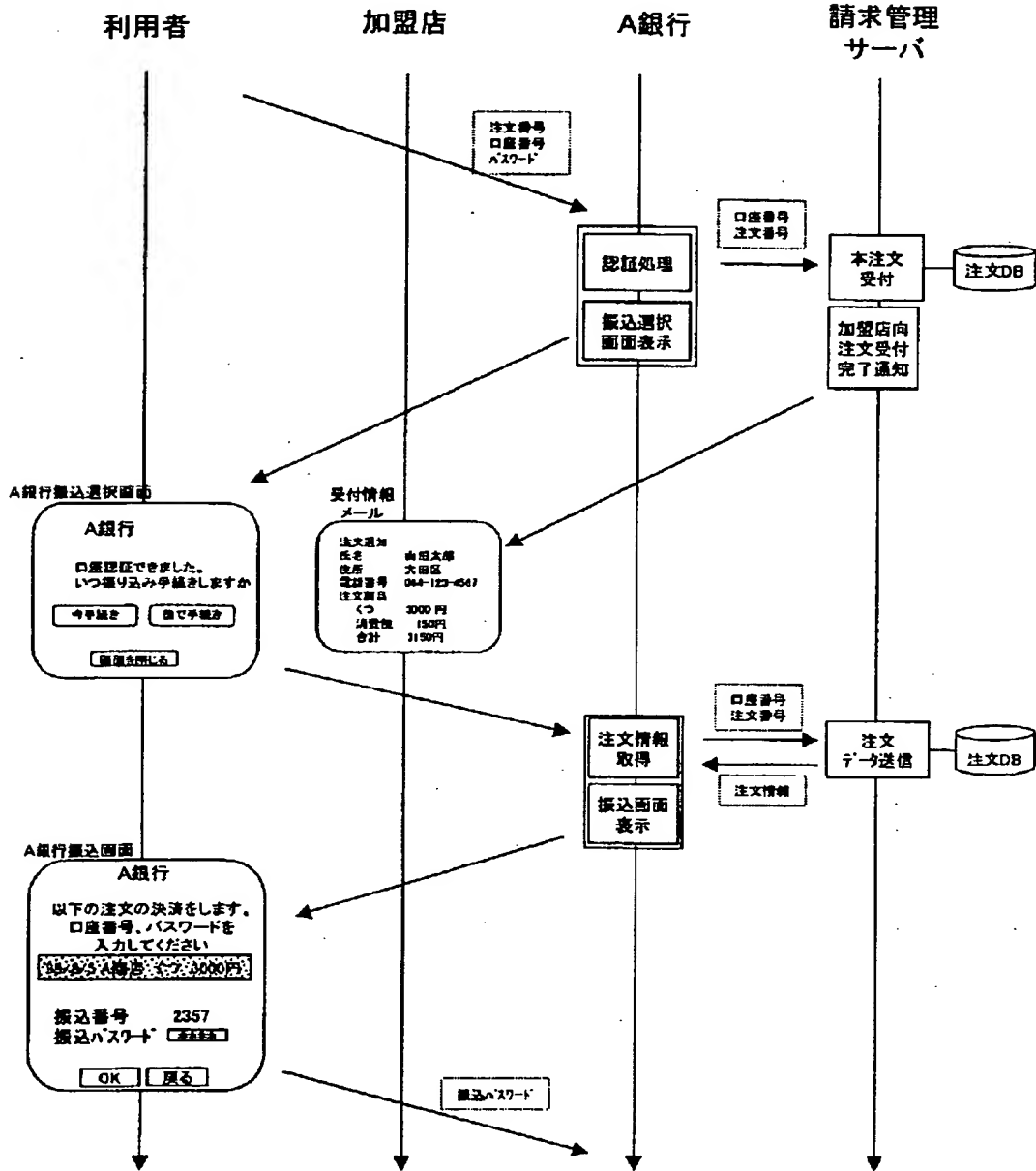
【図28】

別の実施形態における、ショッピング即時決済の  
場合の処理の流れを示すシーケンス図(その1)



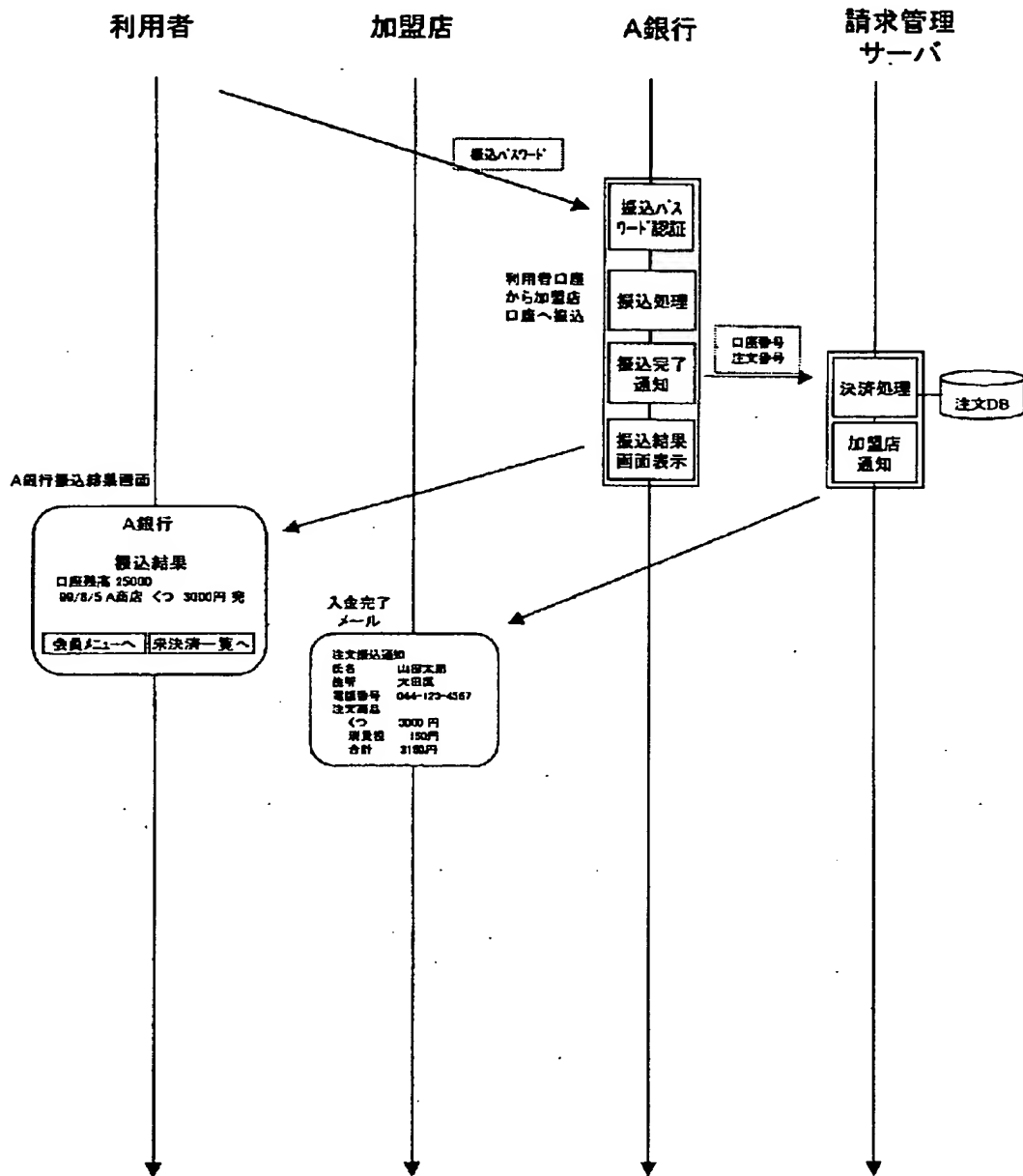
【図 29】

別の実施形態におけるショッピング即時決済の  
場合の処理の流れを示すシーケンス図 (その 2)



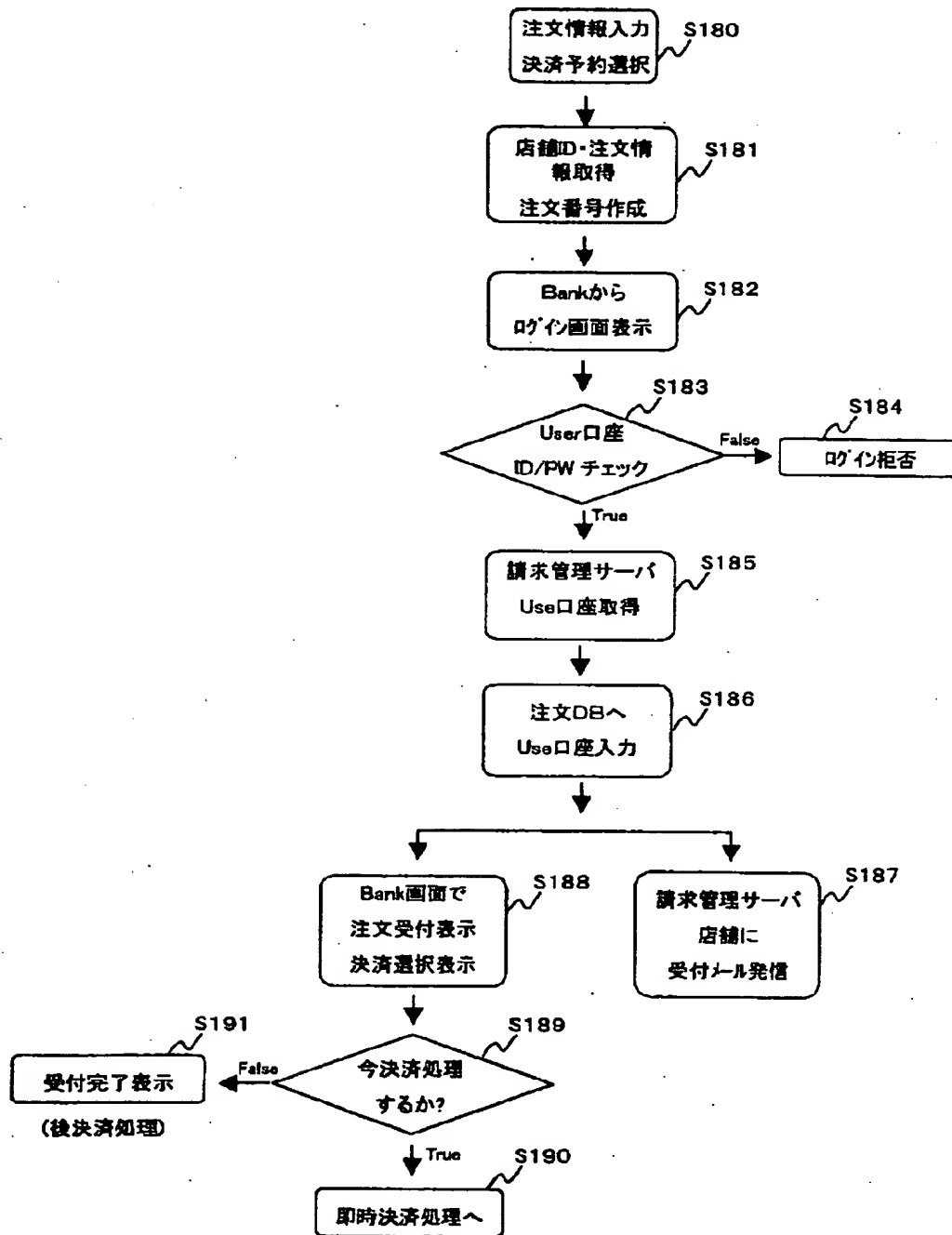
【図 30】

別の実施形態におけるショッピング即時決済の  
場合の処理の流れを示すシーケンス図 (その3)



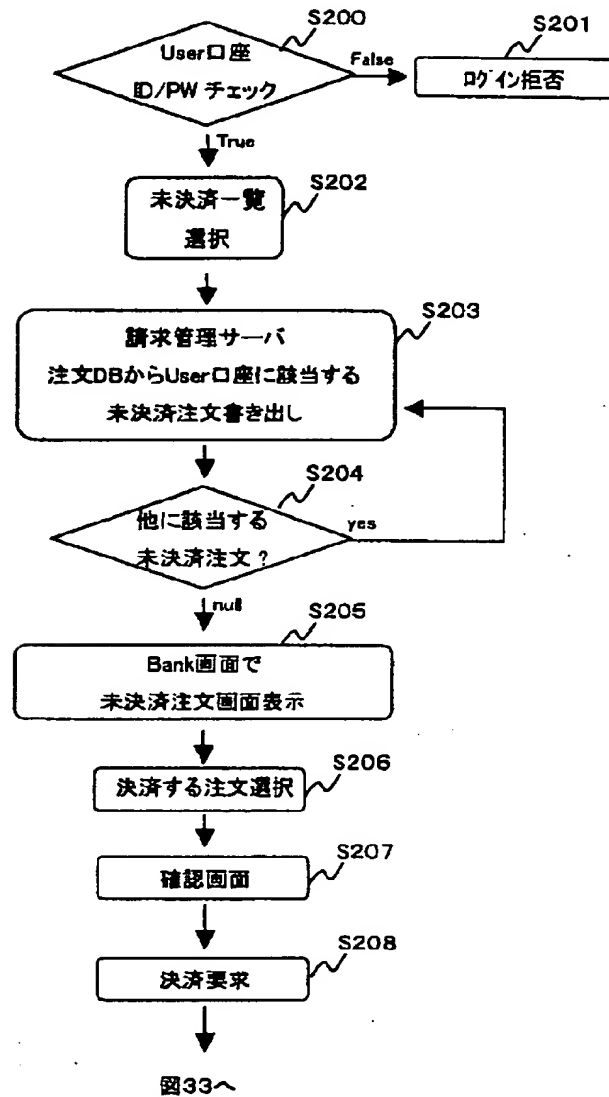
【図 31】

別の実施形態における注文受付処理を示す  
フローチャート



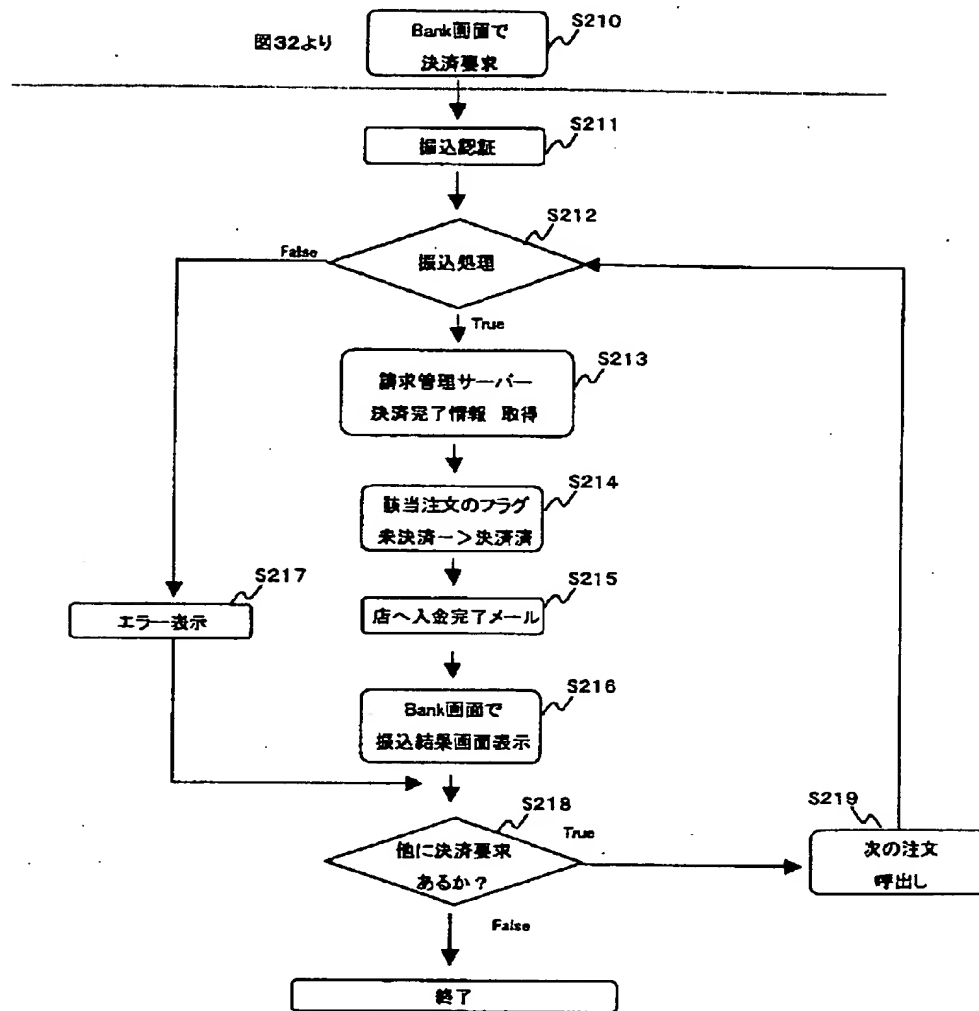
【図 3 2】

別の実施形態における  
未決済一覧の表示処理を示すフローチャート



【図 33】

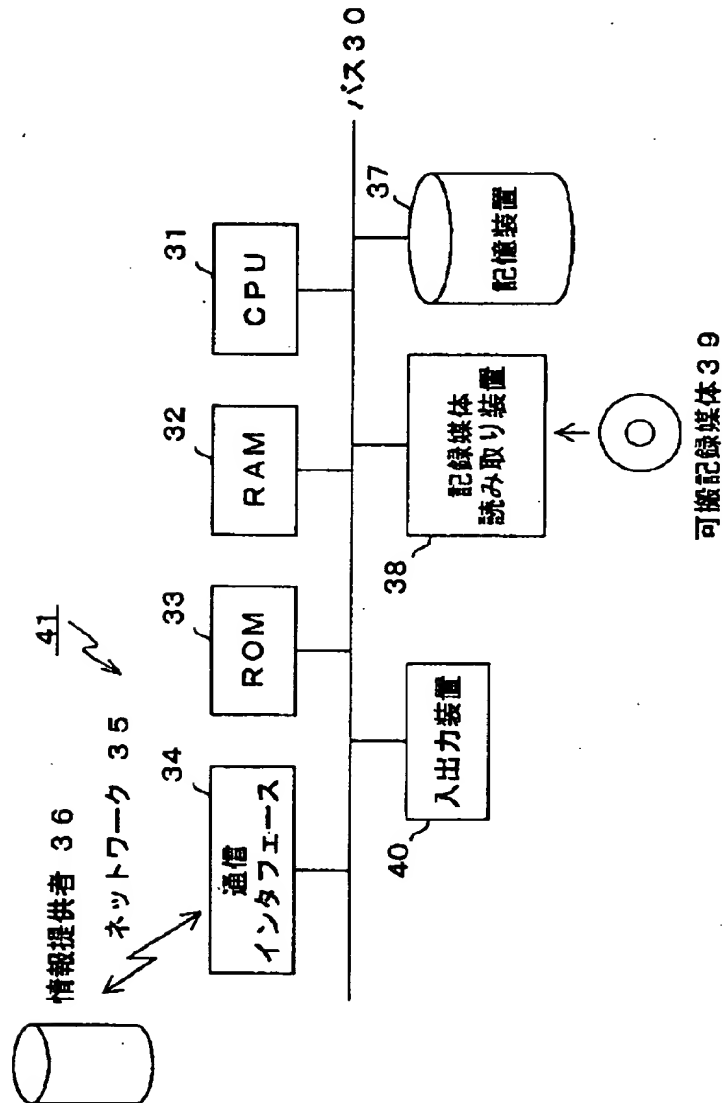
別の実施形態における振り込み処理を示す  
フローチャート





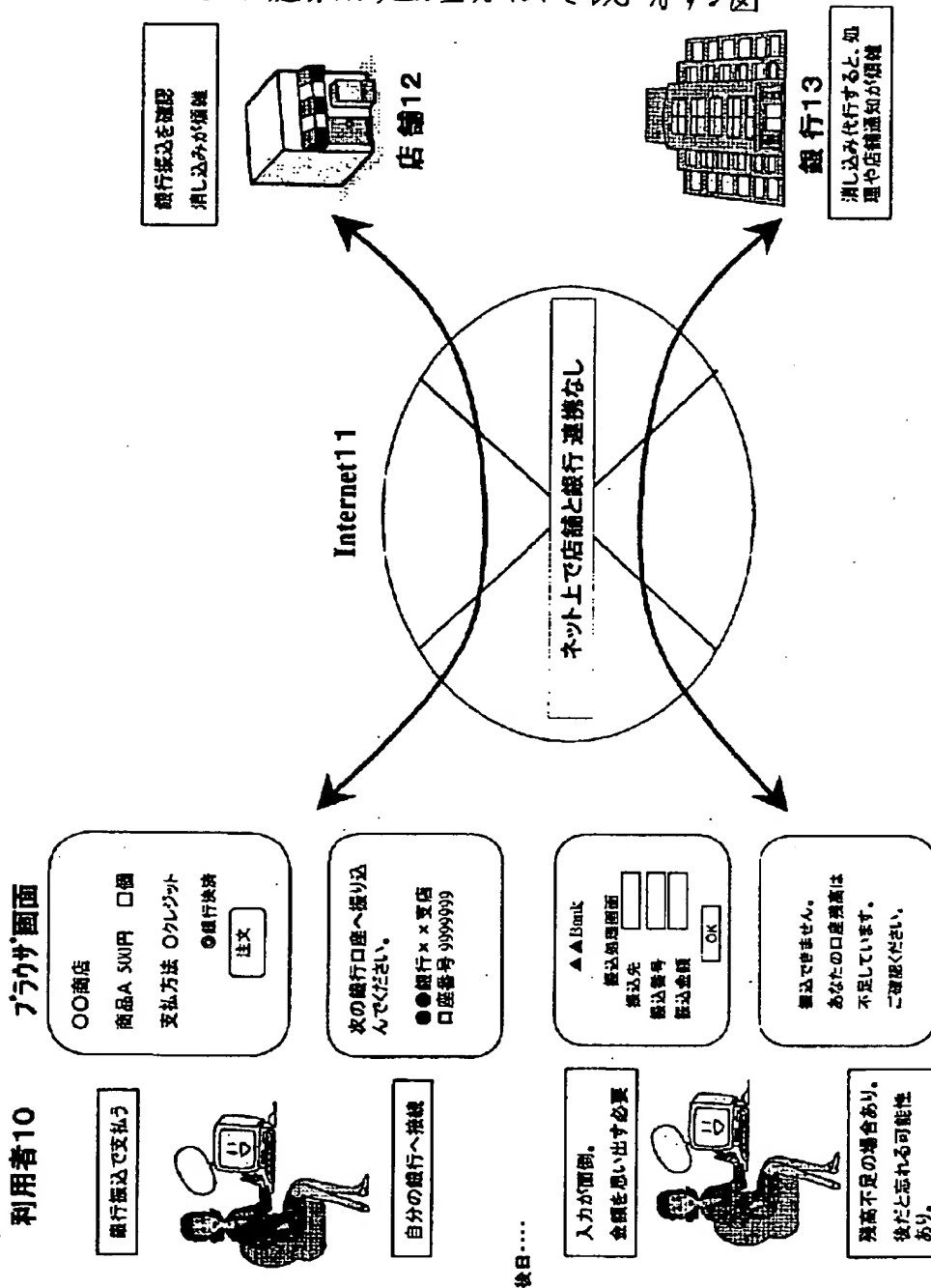
【図 34】

各実施形態における請求管理サーバ、あるいは、  
口座取扱機関（銀行）のサーバに要求される一般的  
ハードウェア構成を説明する図



【図 3 5】

代金の支払いをインターネットを介して銀行振込を行う  
場合の従来の処理方法を説明する図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者のオンラインショッピング若しくはオフラインの取引において、代金の支払いを正確に、かつ、簡単に行うことが出来るシステムを提供する。

【解決手段】 利用者 2 0 が、店舗 2 1 が提供するインターネット 2 4 経由の商品購入画面を用いて、ショッピングをする際、請求管理サーバ 2 3 が提供する決済予約サービスを利用する。すると、請求管理サーバ 2 3 では、利用者 2 0 のショッピング内容をデータベースとして格納し、該ショッピング内容に支払い金額と支払い済み／未払いのステータスを同時に格納する。利用者は、請求管理サーバ 2 3 が提供するショッピング内容の内の未払い一覧を見て、自分が決済する項目を選び、振り込みを行う口座取扱機関を指定して振り込みをオンラインで行う。振り込まれたショッピング内容については、請求管理サーバ 2 3 が消し込み作業を自動で行う。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 5 9 6 0 8 9 3 4 4 ]

1. 変更年月日	1 9 9 6 年 6 月 2 0 日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都千代田区九段南 1 丁目 3 番 1 号
氏 名	株式会社さくら銀行

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社